

多可町

教育・保育共通力リキュラム



令和 2 年改訂

多可町・多可町教育委員会

目 次

1	多可町の概要	1
2	多可町の就学前教育・保育の現状	1
3	多可町の就学前教育・保育について	2
4	策定の方法	4
5	具体的な策定の手順	5
6	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	6
7	策定の経過	8
8	0歳児カリキュラム（子どもの姿・ねらい・内容）	11
	0歳児カリキュラム（環境構成・保育者の援助・家庭との連携）	12
9	1歳児カリキュラム（子どもの姿・ねらい・内容）	13
	1歳児カリキュラム（環境構成・保育者の援助・家庭との連携）	14
10	2歳児カリキュラム（子どもの姿・ねらい・内容）	15
	2歳児カリキュラム（環境構成・保育者の援助・家庭との連携）	16
11	3歳児カリキュラム（子どもの姿・ねらい）	17
	3歳児カリキュラム（内容）	18
	3歳児カリキュラム（環境構成・保育者の援助・家庭・地域との連携）	19
12	4歳児カリキュラム（子どもの姿・ねらい）	20
	4歳児カリキュラム（内容）	21
	4歳児カリキュラム（環境構成・保育者の援助・家庭・地域との連携）	22
13	カリキュラム・期毎（Ⅰ期）	23
	カリキュラム・期毎（Ⅱ期）	24
	カリキュラム・期毎（Ⅲ期）	25
	カリキュラム・期毎（Ⅳ期）	26
14	カリキュラム・横軸（園児の姿）	27
	カリキュラム・横軸（ねらい）	28
	カリキュラム・横軸（内容）	29
	カリキュラム・横軸（☆環境構成◎保育者の援助）	30
	カリキュラム・横軸（家庭・地域・小学校との連携）	32
15	事例1「おれらにまかしとけ」	33
	事例2「お化け屋敷ごっこをしよう」	34
	事例3「船づくり」	35
	事例4「町づくり」	36
	事例5「なんのたまごだろう」	37
	後記	38

1 多可町の概要

多可町は、平成 17（2005）年 11 月 1 日に旧中町、旧加美町、旧八千代町の 3 町が合併して誕生した人口 20,885 人（平成 31 年 1 月 1 日現在）の町です。兵庫県の東播磨地域の内陸部に位置し、北は丹波市、朝来市、東は丹波市、南は西脇市、加西市、西は神崎郡神河町、市川町にそれぞれ接しています。地勢的には、中国山地の山々に囲まれた中山間地域で、山林面積が町域全体の 8 割を占める水と緑のあふれる自然豊かな町です。宅地や田畑は全体の約 1 割ですが、町内には 16 の学校園（高等学校、特別支援学校等を含む）があり、病院や工業施設などもあります。交通手段は主に自動車で、公共交通は神姫バスの定期路線があり、コミュニティバスの運行も行われています。気候は瀬戸内気候の影響を受けて穏やかですが、中国山地の背陵地帯として内陸性気候の影響も受け、寒暖の差が比較的大きくなっています。

また、「山田錦」「杉原紙」「敬老の日」の発祥のまち、紙漉きや播州歌舞伎、鶏合わせ等地域の伝統文化を大切にしているまちとしても知られています。

課題としては人口減少・少子高齢化で、令和元年度の出生数は 83 人、高齢化率は 35.95%（令和 2 年 3 月 1 日現在）となっています。

2 多可町の就学前教育・保育の現状

合併時には中区に私立のみどり保育所、あさか保育園、四恩保育所、公立の中町幼稚園の 4 園、加美区にきた保育所、みなみ保育所、松井幼稚園、杉原谷幼稚園の公立 4 園、八千代区にキッズランドやちよ（幼保一体型施設）の公立 1 園、計 9 園ありましたが、平成 23 年 4 月に加美区の保育所と幼稚園が統合しキッズランドかみ（幼保一体型施設）となり、平成 27 年 3 月に中区の中町幼稚園が閉園、4 月に 3 保育所（園）が幼保連携型認定こども園、ちびっこランドらくえんが小規模保育事業所となりました。また、平成 29 年 3 月に加美区、八千代区のキッズランドを民営化することに決定し、平成 31 年 4 月に、公私連携幼保連携型認定こども園としてスタートしました。

就学前（年長 5 歳児）の就園率はほぼ 100%で、核家族化、夫婦共働き世帯の増加により 0～2 歳までの就園率も増加傾向にあります。

保育内容については、これまではそれぞれの園が幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき園独自のカリキュラムを作成していましたが、平成 27 年度に幼保連携型認定こども園が開園され、国においても平成 29 年に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂されることとなりましたので、多可町でもそれらに則った全園共通の教育・保育カリキュラムを作成することとしました。0～5 歳児までの共通カリキュラム策定により、多可町内の認定こども園・保育所における 0 歳児から就学前教育までの一貫した教育・保育をめざします。

また、小学校への引き継ぎについては、平成 23 年度から町内統一の「幼稚園・保育所児童保育・指導要録（学籍に関する記録・指導及び保育に関する記録）」を使用しており、幼稚園、保育所にかかわらず小学校へ抄本を送付することとしています。（2019 年度からは、幼保連携型認定こども園園児指導要録-学籍等に関する記録・指導等に関する記録-を使用）また、体験入学や登校体験、職員同士の情報交換会、合同研修なども実施し、就学前から小学校への移行がスムーズに図れるようにしています。

3 多可町の就学前教育・保育について

多可町教育大綱 多可町教育ビジョン（後期）

－多可町教育振興基本計画－から

幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期です。次代を担う子どもたちが生きる力を身につけ、心身ともに健康でこころ豊かに育つことは、保育所、幼稚園さらに地域全体の願いでもあります。そこで、就学前においては、本町のもつ豊かな自然と人の絆をいかしながら、豊かな心を持ち、本町の自然にふれ、ひとり、主体的に遊ぶ子どもの育成をめざします。

多可町教育の基本目標

「明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり」

学校園教育の重点目標

「ふるさと多可町を愛し、自らの夢や目標に向かってたくましく生きる、こころ豊かな子どもの育成」

めざす子ども像（就学前）

「豊かな心を持ち、多可町の自然にふれ、ひとり、主体的に遊ぶ子ども」

健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実

少子化に対応し、地域の特性をいかし健やかな心身の発達を育む幼児教育を進めます。

今後の方向と目標

幼児期における教育は人格形成の基礎を培う重要なものであることを踏まえ、幼保一体化施設や認定こども園等で、幼児一人一人の特性に応じた教育・保育の一層の充実を図ります。また、子どもの発達や学びの連続性を考慮し、めざす子ども像を踏まえた取組を進めます。

取組

○めざす子ども像の周知・徹底

- ・教職員に対する「豊かな自然体験研修事業」など様々な研修を通して、幼児教育の充実に向けた取組を支援します。

○基本的生活習慣の確立

- ・家庭と協力し、「あいさつ」、「早ね 早おき 朝ごはん」運動を通して、幼児教育の充実に向けた取組を支援します。

○心の教育の推進

- ・人権教育推進の観点から、遊びや体験を通して、友だちを大切にする心を育てるとともに、「よい行い」、「悪い行い」のあることに気づくことにより、社会のきまりの大切さを知るなど規範意識の育成を図ります。

○幼児教育と小学校教育の円滑な接続

- ・子どもたちの発達段階の特徴や校種による学びの違い等について、保育・授業の公開や合同研修を通して理解を深め、教職員の意識の向上を図ります。

○公立私立・幼保の連携及び関係機関の連携

- ・就学前教育・保育に関わる、町内の公立幼稚園・保育所及び認定こども園等の施設間の連携や子育てふれあいセンターなど関係機関との連携を推進します。

○児童虐待防止等の推進

- ・児童虐待の防止リーフレットや対応マニュアルを関係機関等に配布し、虐待の発生予防及び早期発見、迅速な対応への啓発を行います。
- ・個別ケース検討会議等を実施し、関係機関の連携を強化しながら、子どもの健全な養育を支援します。

○世代間交流の推進

- ・児童館や子育てふれあいセンター、保育所等において、地域の高齢者や子育て中の男性、中・高生など、世代間交流を実施します。

○地域の教育力の向上

- ・学校園・家庭・地域が連携して行う PTCA 活動を支援しながら、地域の子どもの安全を確保します。

○敬老の精神の育成

- ・「敬老の日」発祥のまち多可町として、その精神と伝統を受け継いでいく活動を推進していきます。

○食育指導の充実

- ・栄養士等が子育てふれあいセンターや保育所、幼稚園、小中学校へ出向き、関係機関と協力して学習の場づくりや活動支援を行います。

○発達障がい児への早期支援

- ・臨床心理士などの訪問による、保育所・幼稚園における早期支援に向けた助言を行います。

○サポートファイルの推進事業

- ・ライフステージに応じた継続的な支援を行うため、サポートファイルを作成し、活用を推進します。

○見守り・安全巡回パトロール事業

- ・各学校園の周辺及び通学路をパトロールし、子どもたちの安全確保を図ります。

○学校園の情報提供の推進

- ・子どもたちの個人情報の保護に十分配慮しながら、タイムリーな情報を学校広報誌やホームページを通じて公開します。

4 策定の方法

【平成 28 年度】

平成 28 年度は、各園からカリキュラムを持ちより、他園に園の教育・保育方針や保育内容などを説明、「互いの教育・保育を知り、理解する」ところからスタートしました。そして次に、各園の教育・保育事例をもとに研究協議を重ね、多可町の 5 歳児の姿や多可町の教育・保育のあり方等を探りました。これは、町内の 5 園が共通カリキュラムのもと保育を行うためには、教育観・保育観（園生活において、幼児期にふさわしい生活をどのように展開し、どのような資質・能力を育むようにするのか等）を共通理解しておかなければならないと考えたためです。全委員で 27 事例を検討し、共通理解を図り、平成 29 年度の本格的なカリキュラム作成に繋がりました。

【平成 29 年度】

平成 29 年度は、平成 29 年改訂、平成 30 年 4 月全面実施の新幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に則って全委員で協議を重ねカリキュラムを作成しました。作成の基本としたのは新幼稚園教育要領です。これは、認定こども園教育・保育要領が幼稚園教育要領及び保育所保育指針との整合性を考え改訂されたものであることと、今回作成するのが就学前の 5 歳児カリキュラムであること、これらのことから幼稚園教育要領を基に作成することが適当であると考えたためです。中でも、幼稚園教育要領の 5 領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）と、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（A.健康な心と体、B.自立心、C.協同性、D.道徳性・規範意識の芽生え、E.社会生活との関わり、F.思考力の芽生え、G.自然との関わり・生命尊重、H.数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、I.言葉による伝え合い、J.豊かな感性と表現）に視点を置き、編成しました。

【平成 30 年度】

平成 30 年度は各園がカリキュラムに則った教育・保育を実践し、評価を行いました。そして、検討委員会で各園の評価をもとに協議し、修正・加筆等を行いました。

【令和元年度】

平成 31 年 3 月に改訂した多可町 5 歳児教育・保育共通カリキュラムにつながるように、各園のカリキュラムを基にそれぞれの時期の発達や子どもへの関わり方、身につけてほしいこと等について協議を重ね、共通して取り組んでいくものを 0～4 歳児のカリキュラムとして追加作成しました。

5 具体的な策定の手順

具体的な作成の手順としては、幼稚園教育要領の第 1 章第 3 節 3 の「教育課程の編成上の基本的事項」に記されている「幼稚園生活の全体を通して第 2 章に示すねらいが総合的に達成されるよう、教育課程に係る教育期間や幼児の生活経験や発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容を組織するものとする。この場合においては、特に、自我が芽生え、他者の存在を意識し、自己を抑制しようとする気持ちが生まれる幼児期の発達の特性を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野をもって充実した生活が展開できるように配慮する」に従って作成しました。また、幼稚園教育要領第 1 章第 3 節 4 の「教育課程編成上の留意事項」に記されている「幼児の生活は、入園当初の一人一人の遊びや教師との触れ合いを通して幼稚園生活に親しみ、安定していく時期から、他の幼児との関わりの中で幼児の主体的な活動が深まり、幼児が互いに必要な存在であることを認識するようになり、やがて幼児同士や学級全体で目的をもって共同して幼稚園生活を展開し、深めていく時期などに至るまでの過程を様々に経ながら広げられていくものであることを考慮し、活動がそれぞれの時期にふさわしく展開されるようにすること」や、第 1 章第 3 節 5 の「小学校教育との接続に当たっての留意事項」に記されている「幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成に繋がることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする」「幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を共有するなど連携を図り幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする」に留意し、作成しました。

6 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

A. 健康な心と体

幼稚園(幼保連携型認定こども園における)生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

B. 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

C. 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

D. 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

E. 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園(幼保連携型認定こども園)内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

F. 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

G. 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命ある物としていたわり、大切にすることをもちながら関わるようになる。

H. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

I. 言葉による伝え合い

先生（保育教諭等）や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

J. 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

7 策定の経過

平成 28・29・30 年度 5 歳児教育・保育共通カリキュラム検討委員会

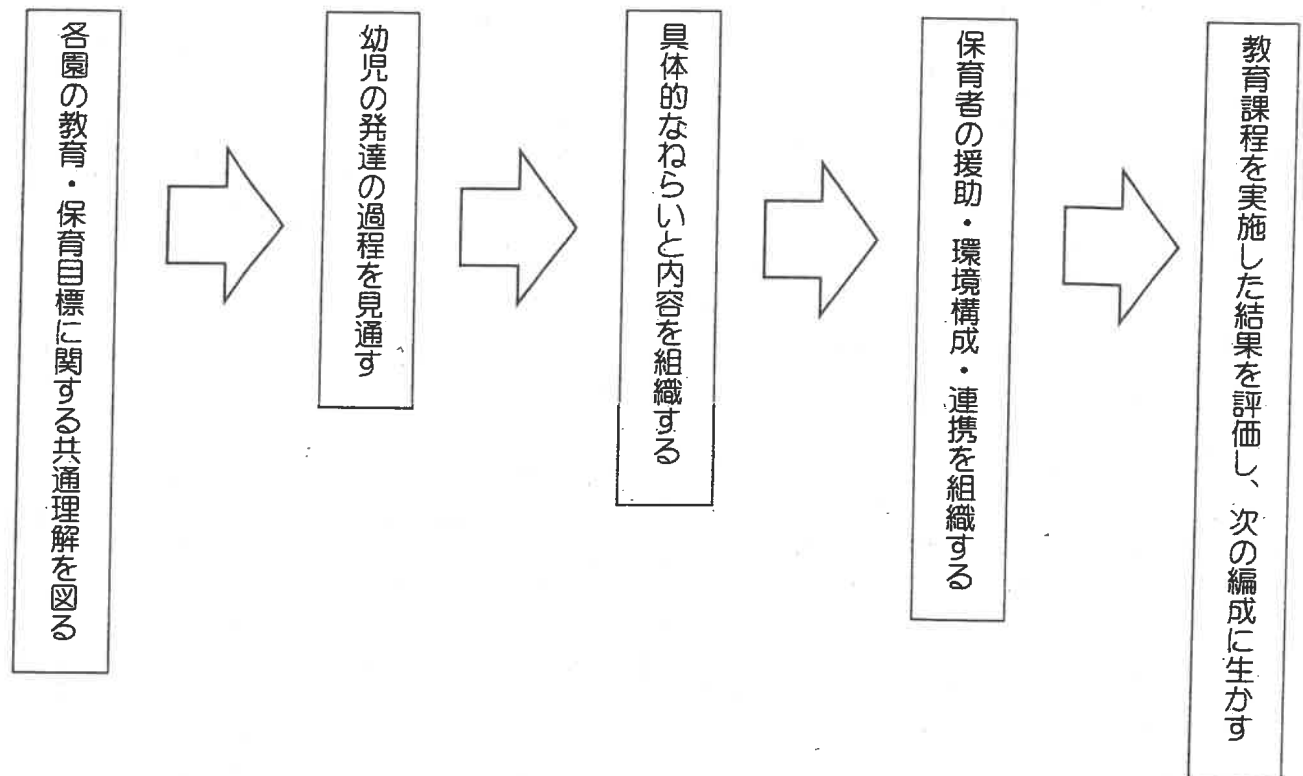
	月 日	内 容
1	平成 28 年 5 月 27 日（金）	多可町の教育方針について 各園の教育・保育方針、及びカリキュラム報告
2	平成 28 年 8 月 9 日（火）	保育事例研究（教育・保育の共通理解）
3	平成 28 年 11 月 1 日（火）	保育事例研究（教育・保育の共通理解）
4	平成 29 年 1 月 13 日（金）	保育事例研究（教育・保育の共通理解）
5	平成 29 年 8 月 1 日（火）	カリキュラム検討（幼児の姿及びねらい）
6	平成 29 年 10 月 31 日（火）	カリキュラム検討 （内容、保育者の援助、環境構成、 保護者・地域・小学校との連携）
7	平成 29 年 1 月 11 日（木）	カリキュラム検討 （多可町の教育方針、及び領域、 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の整合性）
8	平成 29 年 2 月 5 日（月）	カリキュラム検討（まとめ）
—	平成 30 年 7 月 10 日（火）	多可町 5 歳児教育・保育共通カリキュラム説明会
9	平成 30 年 12 月 19 日（水）	カリキュラム評価・検討
10	平成 29 年 2 月 5 日（月）	カリキュラム評価・検討

平成 28 年度

平成 29 年度

平成 30 年度

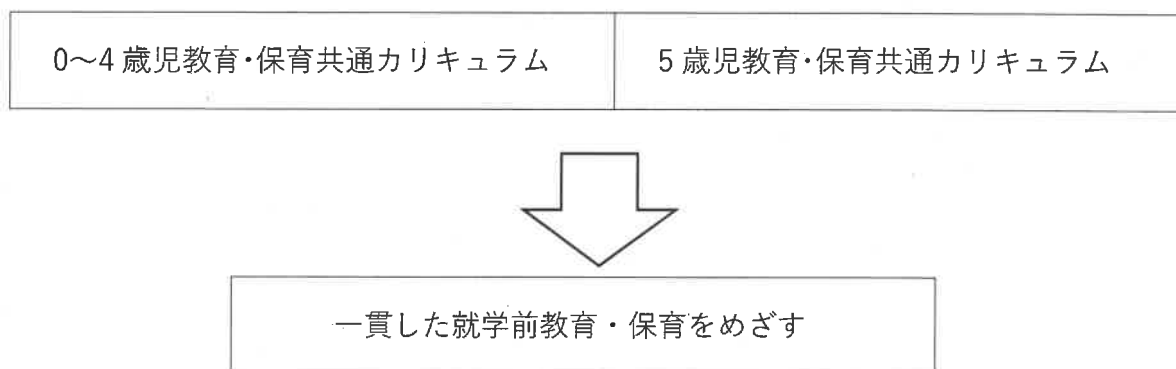
編成に必要な基礎的事項についての理解を図る



(注釈)

- ・カリキュラムは1年を4期に分けた期毎のものと、園児の姿、ねらい、内容、環境構成・保育者の援助、家庭・地域・小学校との連携がそれぞれ1年を通して見られる横軸のもの、この2通り作成した。
- ・横軸のカリキュラムは、「5領域」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と照らし合わせられるようにした。
- ・カリキュラムは幼稚園教育要領を基に作成しているが、カリキュラム内の文字の表記は今後0～4歳児のカリキュラムを作成することを見越して、「幼児」は「園児」、「教師」は「保育者」とする。
- ・ねらい、内容に関しては「保育者」ではなく、「先生」と表記する。
- ・事例内のアルファベットは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を示す。
- ・幼児期の教育・保育は、諸能力が個別に発達していくものではなく、相互に関連し合い総合的に発達していくものである。ゆえに、本カリキュラムの中で「5領域」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に分類した場合、はっきりと区別できないものがあった。こういった場合は、どちらの領域、または姿に重きを置くかを委員で協議して判断し、分類するようにした。

令和元年度



《令和元年度 多可町教育・保育共通カリキュラム検討委員会》

令和元年 8 月 2 日（金） 各園のカリキュラム報告・様式の検討

令和元年 9 月 3 0 日（月） カリキュラム検討（様式再構成）

令和元年 1 0 月 2 9 日（火） カリキュラム検討（姿や視点の捉え方）

令和元年 1 2 月 3 日（火） カリキュラム検討（まとめ）

- ・年齢や経験が異なる様々な子どもがいることに配慮しながら、発達と学びの連続性を図る。
- ・0, 1 歳児については3つの視点「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものと関わり感性が育つ」から子どもの生活や遊びと捉え、2 歳児については5 領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」を視点としつつも、それぞれの領域が重なり合いながら子どもの成長発達を促していくようカリキュラムを策定した。
- ・3, 4 歳児については5 歳児と同様に、5 領域と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）」が実現するような内容を踏まえて作成した。

8 0歳児カリキュラム

多可町教育・保育共通カリキュラム (0歳児)

	6 か月～9 か月未満	9 か月～12 か月未満	1 歳～1 歳 3 か月未満	1 歳 3 か月～2 歳未満
<div> <div>○ 養護</div> <div>● 教育</div> </div> <div> <div>○ 養護</div> <div>● 教育</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルクだけの食事から、おかゆやスプーンなどの離乳食（初期食）が始まる。 ・いろいろな味や舌触りに慣れ、もぐもぐし、飲み込むことができる。（中期食） ・睡眠が午前午後の2回になる。 ・お座りが安定し、座った状態で玩具を持ったり、玩具を持ち替えたりして遊ぶ。 ・人見知りが始まり、後追いをしたり、声を出して大人を呼んだりする。 ・お座りをしたり、腹ばいで前に進んだりするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べることに意欲的になり、手や指を使って自分で食べる。舌が前後、左右に動き、歯茎ですりつぶして食べることができるようになる（後期食）。 ・コップで飲めるようになる。 ・睡眠時間が安定し、生活リズムが整ってくる。 ・ずり這い、四つ這い等で移動し、徐々につかまり立ちや伝い歩き等歩行への意欲がでてくる。 ・音楽や歌に合わせて体を動かし、指差しや喃語で意思を伝えようとしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯茎、乳歯を使っていろいろなものを噛んで食べるようになる（幼児食）。 ・ほぼ午後1回の睡眠になる。 ・つたい歩きから一人歩きができるようになり、行動範囲が広がる。 ・「マンマ」「プープー」など意味のある言葉を言うようになる。 ・つまむ、たたく、引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こぼしながらもスプーンを使って食べようとしたり、保育者に食べさせてもらったりする。 ・排尿間隔が長くなり、一回の量も多くなる。 ・他の子どもにも関心を示し、持っているものを欲しがったり触ったりする。 ・一人歩きが安定し、小走りで歩いたり、段差のあるところを歩いたり、跳び下りたりするなど上下の運動に挑戦する。 ・「ねんね」「おいで」「ちよっだい」など、身近な言葉が分かり、行動する。 ・感情表現が豊かになり、自分の欲求を通そうとする。 ・手の細かいコントロールが進み、積み木を積みだり、なぐり描きが点から曲線になったりする。
<div> <div>○ 養護</div> <div>● 教育</div> </div> <div> <div>○ 養護</div> <div>● 教育</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な食材や味付けを経験しながら、食への関心を深める。 ○一人一人に合った生活リズムを大切にして生理的欲求を満たす。 ●特定の大人の受容的な関わりを通して、人への信頼感を深める。 ●安全で活動しやすい環境のもと、体を動かすことを楽しんだり、自分の気持ちを素直に表現したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の成長に合わせて離乳食を進め、嚥下（飲み込み）、咀嚼などの発達段階を一つ一つ経験し、おいしく、楽しく食べられる基礎をつくる。 ●特定の大人と共に過ごす喜びを感じ、表情や発声などにより気持ちを通わせ、愛情や信頼関係が芽生える。 ●身体感覚が育ち、はう、立つ、歩くなどの運動をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手づかみ食べやスプーンでの食事を通して、自分で食べる喜びを感じられるようにする。 ●活動しやすい安全な環境で、全身運動や探索活動を盛んにし、喜ぶ。 ●保育者と一緒に遊んだり、関わったりする中で、簡単なやり取りを楽しむ。 ●五感を働かせる経験や感覚遊びを通して、感性や手指の発達を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心してできる保育者と、食事、着替えなどの活動を通して、自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。 ●友達の行動に関心を示し、関わりをもとうとする。 ●生活の中の簡単な言葉が分かり、使おうとする。 ●自然物や身の回りのものなど、見たり、触ったり、聞いたりできる豊かな環境の中で、感覚遊びや運動遊びを楽しむ。
<div> <div>○ 養護</div> <div>● 教育</div> </div> <div> <div>○ 養護</div> <div>● 教育</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な食材や味付けを経験しながら、離乳食（舌ですべせる固さ）をモグモグしながら飲み込むことに慣れる。（a） ・睡眠のリズムが安定し、睡眠時間が長くなる。（a） ・おむつを取り替えてもらい、心地よさを味わう。（a） ・身近な保育者に親しむをもつと同時に、少しずつ他の大人にも関心をもつ。（b） ・簡単な歌や手遊び、わらべ歌遊びなどのふれあい遊びを楽しむ。（b）（c） ・機嫌の良い時には盛んに喃語で話し、音声や泣き声で要求を表す。（b） ・興味のある玩具は片手を出してつかみ、見つめたり、しゃべったり、振ったりして遊ぶことを楽しむ。（c） ・安心できる環境の中で体を動かして遊ぶ。（a）（c） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の種類や量が増えて、薄味や、いろいろな形態に慣れ、食品によっては手に持って食べる。（a） ・睡眠時間が一定になり、心地よく入眠する。（a） ・おむつ交換を通して、快、不快を感じる。（a） ・特定の大人と愛着関係を築き、安心できる環境のもと、好奇心を満たしていく。（b）（c） ・興味をもったものを指差し、言葉と一致させようとする。（b）（c） ・簡単な言葉が分かり、喃語や指差し、声、身振り、表情で自分の思いを表現しようとする。（b） ・歌や音楽に興味をもち、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。（c） ・安全な場所で、十分にハイハイやつかまり立ち、伝い歩きをする。（a）（c） 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児食に慣れ、手づかみ食べを盛んにし、コップやスプーンなども使って自分で食べようとする。（a） ・安心して入眠し、一定時間熟睡する。（a） ・排尿間隔が次第に長くなる。（a） ・保育者に優しく言葉に応えてもらこうと、安心感を味わう。（b） ・保育者に絵本を読んでももらったり、手遊び、真似っこ遊びをしたりしながら、簡単なやりとりを楽しむ。（b）（c） ・絵本に出てくる食べ物や身近な物に興味を示したり、指差しをしたりする。（c） ・指先を使った細かな動きができる玩具で遊ぶ。（a）（c） ・活動しやすい安全な場所で、立つ・歩くなどの全身運動や探索活動を盛んにし、喜ぶ。（a）（c） 	<ul style="list-style-type: none"> ・こぼしながらも、スプーンを使って自分で食べようとする。（a） ・生活の流れにのって、自分の布団に向かい眠ろうとする。（a） ・保育者に促されて、おまるやトイレに興味を示して座ったり、タイミングが合えば排泄したりする。（a） ・保育者に手伝われ、衣服の着脱や身の回りのことに興味をもって行う。（a） ・自分の思いを身振りや言葉で伝えようとする。（b） ・他の子どもにも興味をもち始め、関わりようとする意欲が出てくる。（b） ・身近な音楽に親しみ、それに合わせた体の動きを楽しむ。（c） ・戸外で、自然物や動植物に興味を示す。（c） ・歩行が確立し、小走りをしたり、遊具に登ったりしようとする。（a）（c）

	<p>◎ 安心して、落ち着いた雰囲気の中で授乳を行う。</p> <p>◎ 離乳食の量によってミルクの量を調節する。</p> <p>◎ 家庭と連絡を取り合い、一人一人の発達の状態に合わせ、離乳食の開始時期や内容を検討する。</p> <p>◎ 睡眠のリズムの変化に対応して、活動時間や活動内容を調整する。</p> <p>◎ 睡眠中は、仰向けに寝かせ、様子を見守り、呼吸の状態を把握する（SIDS チェックをする）。</p> <p>◎ おむつ交換時の一対一の機会を生かして、快、不快を伝えるとともに、優しく言葉掛けをすることで情緒の安定を図っていく。</p> <p>◎ 特定の保育者と触れ合うことで、安心感や愛着心を育んでいけるように接する。</p> <p>◎ 話しかける、優しく抱くなどして十分に関わり、身近な大人に対する関心を深めて、信頼関係ができていくようにしていく。</p> <p>◎ 甘えや不安をその都度受け止め、情緒の安定を図る。</p> <p>◎ 保育者も一緒に遊びながら優しく言葉を掛け、楽しく遊べるようにする。</p> <p>☆ 玩具などは、常に点検し、洗浄・消毒をして清潔に保つ。</p> <p>☆ いろいろな物を口に入れるため、安全な環境を整える。</p> <p>☆ お座りや寝ばいになるなど活動範囲の広がりに伴い、安全面や衛生面に留意し、活動しやすい環境を整える。</p> <p>☆ 発達に合った運動遊びができる遊具や活動意欲を引き出すような玩具を準備し、配置を工夫する。</p>	<p>◎ 一人一人に合わせ、スプーンや手づかみで食べることを経験できるようにする。</p> <p>◎ 自分で食べようとする意欲を大切にしながら、様々な味や食感に慣れたいけるようにする。</p> <p>◎ 個々に合わせた入眠の仕方を工夫する。</p> <p>☆ 午午睡が必要な子には、落ち着いて眠れる環境を整える。</p> <p>◎ おむつ交換の際は、きれいな心地よさを感じることができるよう言葉掛けをする。</p> <p>◎ 子どもの伝えようとする気持ち（表情や指差しなど）を大切に受け止め、共感したり、分かりやすい言葉で語り掛けたりする。</p> <p>◎ 親しみやすい歌や手遊びなどを取り入れ、楽しめるようにする。</p> <p>☆ じっくり楽しめる玩具や環境を設定し、一人遊びが十分にできるようにする。</p> <p>◎ ゆっくり遊べる環境の中で心地よさや楽しさが感じられるように、保育者の声の出し方や動き方を考慮する。</p> <p>☆ 興味や発達に合わせ、子どもの好奇心や探索活動が満たされるように環境を整える。</p> <p>☆ 動きが活発になると危険が増すことを想定し、物の配置に配慮する。</p> <p>◎ 個々の発達の違いを理解し、ハイハイや伝い歩きなどの移動運動を十分に経験できるようにする。</p>	<p>☆ 温かい雰囲気の中で喜んで食事ができるようにする。</p> <p>◎ 手づかみ食べを認めながら、手を添えスプーンを意識させていく。</p> <p>◎ しっかりと噛んで食べること、口に詰めすぎないことを意識できるように言葉掛けをする。</p> <p>◎ 調理師などと相談し、離乳食を進めながら、次第に幼児食へ移行できるようにする。</p> <p>◎ 一人一人に合った授け方をしながら、安心して眠れるようにする。</p> <p>◎ 一人一人の排尿間隔を見計らい、言葉を掛けておむつを交換する。</p> <p>◎ 安心できる保育者と一対一で触れ合い遊びなどを十分に楽しむ。</p> <p>◎ 絵本の読み聞かせや歌などを通して、発語への意欲を高める。</p> <p>☆ 落ち着いて好きな遊びを楽しめる環境や、静かにじっくり遊び込める環境を保障する。</p> <p>◎ 発達に沿って、指先や五感を刺激する遊びを準備して、取り組んでいく。</p> <p>☆ 伝い歩きや一人歩きなど行動範囲が広がるので、安全面に十分留意し、伸び伸びと遊べるようにする。</p> <p>◎ 探索活動が活発になるため、危険のないように子どもから目を離さないようにする。</p> <p>◎ 運動遊びは子どもの機嫌や体調の良いときに行う。</p>	<p>◎ 自分で食べたとという達成感や満足感を得て、食べる喜びが十分に味わえるようにする。</p> <p>◎ 好き嫌いが見られるようになるため、励ましたり褒めたりすることで、食べる意欲をもてるようにする。</p> <p>◎ 安心して入眠できるように、保育者が傍について見守ったり、生活リズムを整えたりすること大切にする。</p> <p>◎ 排尿間隔を把握し、無理なくおまるに誘って慣れるようにする。</p> <p>◎ おまるでの排泄に成功したときは十分に褒め、喜びが味わえるようにする。</p> <p>☆ 自分でしたいという欲求が十分に満たされるよう環境を整え、喜びが味わえるようにする。</p> <p>◎ 子どもの気持ちを言葉にして返したり、共感したりすることで言葉を広げていく。</p> <p>◎ 一人一人の思いを受け止め、自己主張ができるようにしたり、指差しには一うづ言葉を掛けて受け止め、周囲への関心が広がるようにしたりする。</p> <p>☆ 保育者や友達と一緒に、楽しい思いを共感できるように、触れ合い遊びを多く取り入れる。</p> <p>◎ 他の子と関わり遊びを楽しむよう保育者が仲立ちとなり、一緒に遊んだり見守ったりして、子ども同士の関わりがもてるようににする。</p> <p>◎ 玩具の取り合いなどのトラブルには言葉を補いながら、仲立ちして伝えていく。</p> <p>☆ 興味や関心を広げて豊かな感性が育つように、いろいろな物を見たり、触れたりする機会を多くもつ。</p> <p>◎ 歩行の上達に伴い、行動範囲が広がるため、安全面に配慮し、子どもの様子を見守る。</p> <p>◎ 動きたい気持ちを受け止め、十分に体を動かせるようににする。</p>	<p>・ 一日の生活リズムと自分でしようとする気持ちの芽生えの大切さを知らせ、安定して生活や遊びができるよう連絡を取り合う。</p> <p>・ 子どもの排尿間隔を把握し、家庭でもおまるや便器に座ることを、少しずつ習慣付けてもらう。</p> <p>・ 要求のぶつかり合いで周りの子とトラブルがあるが、子ども達の成長段階の一つとして大切であることを確認し合う。</p>
◎ 保育者の援助 ☆ 環境構成	<p>・ 睡眠、授乳時間などの生活リズムを整え、健康状態を細かく連絡し合い、対応する。</p> <p>・ 離乳食やミルクなどの摂取状況を聞き取り、園での食事状況を伝えることで同じ援助ができるようにする。</p> <p>・ 感染症にかかりやすくなるため、健康状態について連絡を密に取り合う。</p> <p>・ ハイハイの準備期のため、動きやすい衣服を用意してもらう。</p>	<p>・ 2回食から3回食への移行の準備を、話し合って進めていく。</p> <p>・ 遊びの様子を伝えながら、成長発達を確認し合い、喜びを共有していく。</p> <p>・ 甘えたい気持ちが満たされるよう、模倣遊びや触れ合い遊びを紹介する。</p> <p>・ 園の安全対策を伝え、家庭環境の見直しのきっかけとなるようにする。</p>	<p>・ 様々な食品に慣れる大事な時期のため、多様な食材を摂取できるように家庭と連携する。</p> <p>・ 離乳食が完了し、幼児食へと移行できるよう、家庭と連携しながら進める。</p> <p>・ 自我の芽生えは成長の一つだということを伝え、子育ての悩みなどをしっかりと受け止めていく。</p> <p>・ 行動範囲が広がる時期のため、安全への配慮について共通理解を深める。</p>		

9 1歳児カリキュラム

多可町教育・保育共通カリキュラム (1歳児)

	I 期 (4月～5月)	II 期 (6月～8月)	III 期 (9月～12月)	IV 期 (1月～3月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none">・新しい環境に戸惑い、登園時に不安で泣く姿が見られる。・保育者に少しずつ慣れ、安心して触れ合い遊びや好きな遊びをする姿が見られる。	<ul style="list-style-type: none">・生活リズムが安定し、落ち着いて過ごす中で、行動範囲が広がって探索活動が盛んになってくる。・戸外遊びを楽しみ、自然物や身近にある玩具、遊具に興味をも始める。	<ul style="list-style-type: none">・保育者と親しみ、関わりながら遊んでいる。・周囲の環境に興味をもち、言葉や体を使って伝えようとする。・保育者の簡単な言葉が分かり、真似たり尋ねたりするようになる。	<ul style="list-style-type: none">・保育者に援助されながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする気持ちが芽生える。・保育者の仲立ちのもと、友達と簡単な言葉のやり取りをしたり遊んだりするようになる。
ねらい	<p>○ 養護</p> <p>○ 教育</p> <ul style="list-style-type: none">●一人一人の生活リズムを大切にしながら、新しい環境(保育室や保育者)に少しずつ慣れ、安定して過ごせるようにする。○甘えや不安を受け止め、安心して過ごせるようにする。●安心できる保育者に見守られながら好きな遊びを楽しむ。●春の自然に親しみ、戸外遊びや探索活動を楽しむ。	<p>○梅雨期や暑い時期の健康や衛生に気を付け、心地よい環境の中で気持ちよく過ごせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none">●自分の好きな場所に行くことを喜び、保育者と一緒に遊んだり、じゅくじゅくや一人遊びを楽しんだりする。●水、砂などの感触を楽しみながら、夏ならではの遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。●保育者と一緒に、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	<p>○朝夕の気温の変化に気を付けながら、一人一人の体調をしっかりと把握して、健康に過ごせるようにする。</p> <p>○保育者が手伝いながら、食事や排泄、着脱など身の回りのことを自分でやってみようとするようにする。</p> <ul style="list-style-type: none">●戸外遊びや散歩で歩いたり、走ったりして体を十分に動かすことを楽しむ。●秋の自然の中で、保育者と一緒に発見したり、触れたりして楽しむ(落ち葉、虫、石など)。	<p>○寒い時期の健康に気を付けて元気に過ごせるようにする。</p> <p>○保育者が見守りながら、生活の流れが分かり簡単な身の回りのことを自分でしようとするようにする。</p> <ul style="list-style-type: none">●保育者を仲立ちとして、気の合った友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。●冬ならではの自然(雪、氷柱など)に興味をもち、保育者や友達と一緒に触れ合いながら遊ぶ。
(a) 健康やかにのびのびと育つ / (b) 身近な人と気持ちよく通じ合う / (c) 身近なものに関わり感性が育つ	<ul style="list-style-type: none">・新しい生活に慣れ、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごす。(a)・保育者に誘われておまわりながら、園の食事に慣れる。(a)・おむつを取り替えてもらい、きれいな心地心地よさを感ずる。(a)・一人一人の生活のリズムで、安心して眠ろうとする。(a)・食事の前後や汚れた時は顔や手を拭いてもらうことで、きれいになった気持ちよさに気付く。(a)・つかまり立ち、伝い歩き、一人歩きを十分にさせる。(a)・名前を呼ばれたら身振りや声で返事をする。(b)・保育者に見守られる中で、好きなものを見つけて、機嫌よく遊ぶ。(a)・春の自然に触れて気持ちよく過ごす。(c)・簡単な歌や手遊びを真似ようとする。(c)	<ul style="list-style-type: none">・保育者に見守られ、安心して生活が送れるようになる。(a)・少しずつスプーンに慣れ、手助けをされながら一人でお食べようとする。(a)・誘われてトイレに行き、おまるや便器に座ろうとする。(a)・一定の時間、午睡をする。(a)・着替えさせてくれる保育者の動きに合わせて、手や足を通そうとする。(a)・汗をこまめに拭いたり、下着を替えたりしてもらうことで、清潔にすることの心地よさを感ずる。(a)・自分の持ち物やロッカーの場所が分かる。(a)・保育者に見守られ、一人遊びを十分に楽しむ。(b)・自然物や身近な物に好奇心や興味をもち、見たり触れたりして、機嫌よく遊ぶ。(c)・保育者と一緒に水、砂、泥などの感触遊びを楽しむ。(c)	<ul style="list-style-type: none">・保育者の傍で、機嫌よく、安定した生活を送る。(a)・一人で食べたい気持ちが育ち、手づかみやスプーンを使って食べようとする。(a)・様々な食品に慣れ、苦手なものでも少しずつ食べようとする。(a)・排尿、排便の時間がほぼ決まり、誘われるとトイレに行き、タイミングが合うと排尿するときもある。(a)・一人で布団に入り、眠ろうとする。(a)・自分の衣服が分かり、一人で履こうとする。(a)・保育者に介助してもらい、石鹸液を使って手を洗おうとする。(a)・保育者に見守られながら、またぐ、くぐるなど、低い段差や階段を上ったり下りたりする運動を取り入れた遊びを楽しむ。(a)・保育者や友達の名前を覚えて呼んだり、保育者の仲立ちで他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付けていく。(b)・保育者の仲立ちで思いや要求を言葉で伝えようとする。(b)・興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。(b)・二語文を話し始め、生活や遊びの中で友達や保育者と簡単な言葉のやり取りができる。(b)・玩具やいろいろな遊具に触れる中で、形、色、大きさ、量などの違いに気付く。(c)・玩具や空き箱などいろいろな素材を使って、見立て遊びやつくり遊びを楽しむ。(c)・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして楽しむ。(c)・太いパスやフェルトペンでなぐり描きを楽しむ。(c)・秋の自然物を見たり、触れたりして遊ぶ。(c)	<ul style="list-style-type: none">・園の生活リズムに合わせて自分から行動しようとする。(a)・いろいろな食べ物に興味をもち、スプーンやフォークを使って自分で食べようとする。(a)・食前、食後の挨拶の動作や言葉で表す。(a)・尿意や便意を感じると、保育者に知らせたり、自分からトイレに行ったりして排泄しようとしたりする。(a)・パンツやズボンを一人で脱ぎ着たり衣服を自分で着ようとしたりする。(a)・ボタンやスナップなどの留め外しに興味をもち、自分でしようとする。(a)・自分で手を洗ったり顔を拭いたりして、きれいになったことの心地よさを感ずる。(a)・走る、跳ぶ、引く、押す、よじ登るなど全身を使って遊ぶ。(a)・決められた所へものを入れたり、出したたりする。(a)・遊びの終わりが分かり、保育者と一緒に片付けようとする。(a)・遊びを通して友達との関わりをもつ。(b)・少しの間なら待つことや、順番、交代が分かるようになる。(b)・つまむ、ひねる、丸めるなど、手先を使った遊びを楽しむ。(c)・保育者と一緒に好きな歌をうたったり、リズム遊びを楽しむ。(c)・五感を使って雪や氷など身近な自然と触れ合う。(c)・進級する保育室で遊んだり、異年齢児と関わったりして、一つ大きくなることへの期待や楽しみを味わう。(c)

<p>◎ 保 育 者 の 援 助</p> <p>☆ 環 境 構 成</p>	<p>☆ 保育室や園庭の安全に留意し、安心して遊べるようにする。</p> <p>☆ 子どもが安心してできるように、食事の席、布団の場所などの生活環境は、いつも一定にする。</p> <p>◎ 一人一人の発達や生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れさせていくようにする。</p> <p>◎ いろいろな食材に慣れ、進んで食べられるようにしていく。</p> <p>◎ 一人一人にあった方法や言葉掛けで、おむつ交換をする。</p> <p>◎ 着脱や清潔面では子どもの気持ちを大切にし、できないところを援助していく。</p> <p>☆ 一人一人がじっくりと遊べるように、一人遊びができる空間を作り、発達に応じた玩具を用意する。</p> <p>◎ 戸外に出ることで気分転換を図ったり、遊具で移動することで行動範囲を広げたりし、春の自然に興味をもてるようにする。</p> <p>◎ 子どもの思いを表情、喃語、一語文から感じ取り、優しく応じながら共感していくようにする。</p> <p>◎ 子どもとの応答的な関わりを通じて、信頼関係を築いていく。</p>	<p>☆ 保育室の空調を適切に保つとともに、こまめな水分補給、休息、着替えを心がける。</p> <p>◎ 食べようとする意欲を大切にしながら、傍についてスプーン・フォークなどの持ち方を知らせていく。</p> <p>◎ 一人一人のタイミングを把握し、おむつ交換やおまる、便器に座れるよう声掛けをする。</p> <p>◎ シャワーをしたり、着替えをしたりして、皮膚を清潔に保ち、さっぱりとした心地良さを感じられるようにする。</p> <p>◎ 自分でしようとする気持ちを大切にし、できないところは励ましたり援助したりしていく。</p> <p>☆ 様々な遊具に興味をもてるように、子どもの目線で、手が届くところに配置する。</p> <p>☆ 物の取り合いなどによって子どもの意欲をそぐことのないよう、十分な数の玩具やスペースを用意する。</p> <p>☆ 天候、気温などを考慮したり、必要な用具を準備したりして、砂遊び・水遊びが十分に楽しめるようにする。</p> <p>◎ 子どもの思いや言葉を受け止め、丁寧に応答し、伝えようとする気持ちを育ていく。</p> <p>◎ 生活や遊びの中で子どもの好きな手遊びや、歌を繰り返して歌い、リズムや言葉、身振りを楽しめるようにする。</p>	<p>☆ 気温の変化に留意し、室内環境や衣服の調節を通して快適に過ごせるようにする。</p> <p>◎ 食事の量を減したり、少しでも食べた時には、大いに褒めたりして苦手な物を少しでも食べてみようという意欲につなげていく。</p> <p>◎ トイレで排泄できた喜びを感じられるよう、排泄のサインを見逃さないようにする。</p> <p>◎ 自分から進んで着脱しようとしている時は、できる限り見守り、助けを求めてきた場合は、できた部分を十分に褒めようとする気持ちで援助していく。</p> <p>◎ 自分でしようとする気持ちでできた時は、思いを受け止め、うまくいった時には褒めて喜びを共有していく。</p> <p>☆ 全身を使って遊べるよう、保育室の環境を工夫していく。</p> <p>☆ 秋の自然物を使った遊びや製作などを楽しめるように必要なものを用意する。</p> <p>◎ 興味をもって取り組んでいることに共感し、より関心が深まるようにする。</p> <p>◎ 一人一人のしぐさや発語を丁寧に受け止め、言葉に置き換えることで、自分の思いが伝わる喜びが感じられるようにする。</p> <p>◎ 保育者も一緒に体を動かして共に楽しめるようにしていく。</p>	<p>☆ 気温や湿度に十分配慮しながら体調管理をし、感染症にかからないようにする。</p> <p>◎ 自分で食べようとするとする気持ちを受け止め、少しずつ苦手なものが食べられるように手助けをし、頑張りを認めたり、励ましたりする。</p> <p>◎ 一人一人の排泄のサインを見逃さず、さりげなくトイレに誘い、成功したときは一緒に喜び、褒めて自信へとつなげていく。</p> <p>◎ 自分でしようとする気持ちを大切にしながら援助し、自分でできたことの喜びを積み重ねていくようにする。</p> <p>☆ だっこ遊びや見立て遊びなど、友達とのやり取りが楽しめるように必要な玩具を用意し、環境を工夫する。</p> <p>◎ 一人一人の子どもの遊ぶ姿を見守り、保育者が仲立ちとなって、友達と遊ぶことの楽しさが味わえるようにする。</p> <p>◎ 子どもの伝えたいことを受け止め、言葉を補ったり引き出したりして、やり取りを楽しめるようにする。</p> <p>◎ 2歳児クラスのスペースを使って遊ぶ機会を設け、進級への期待がもてるようにする。</p>
<p>家 庭 と の 連 携</p>	<p>・ 連絡帳や送迎時の対話で毎日の様子を伝え、保護者との信頼関係を築いていく。</p> <p>・ かみつきや引っかき、けがなどは適切に対処し、保護者に伝える。</p> <p>・ 保護者の不安な気持ちを受け止め、丁寧に聞かれるようにする。</p>	<p>・ 暑くなる時期などで水分補給、休息、睡眠等、健康管理について知らせていく。</p> <p>・ 感染症情報を分かりやすく伝え、家庭との連絡を密に取り合って、子どもの健康状態をしっかり把握する。</p> <p>・ 汗をかいたり、泥んこ遊びをしたりする季節なので、清潔に過ごせるように、衣服の準備を多めにしておく。</p>	<p>・ 園行事を通じて、園での子どもの様子を見てもらい、子どもの成長を実感し、楽しく子育てができるように援助する。</p> <p>・ 感染症への対応の仕方について丁寧に知らせていく。</p> <p>・ 自己主張が強くなってきて「いやいや」と言うことが多くなるが、成長の過程として受け止めることの大切さを伝えていく。</p>	<p>・ 一年間を振り返って子どもの成長を知らせながら、保護者と共に喜び合い、進級に向けての不安がないように話をする。</p> <p>・ 進級の話を通じて、子どもや今後の見通しについて、一緒に考える。</p> <p>・ 感染症の症状や流行の状況など情報をこまめに伝える。</p>

10 2歳児カリキュラム

多可町教育・保育共通カリキュラム (2歳児)

	多可町教育・保育共通カリキュラム (2歳児)			
	I 期 (4月～5月)	II 期 (6月～8月)	III 期 (9月～12月)	IV 期 (1月～3月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな環境に対して喜びや不安をもちつつも、保育者や友達と関わり合う姿が見られる。 ・気の合う友達の名前を呼んだり、遊びに誘ったりする。 ・保育者と一緒に、生活に必要な身の回りのことを自ら行おうとする。 ・言葉で思いを上手に伝えられず、泣いたり叩いたりして自分の思いを表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しみながら友達と一緒に共感し合う姿が見られる。 ・夏の暑さや、生活リズムの乱れから体調を崩す子もいる。 ・友達の遊びを見て好きな遊びを見つけ、保育者や友達と一緒に遊ぶようになるが、玩具や場所の取り合いでトラブルになることがある。 ・経験したことを言葉や動作で自ら伝えようとする。 ・集団での遊びや全身を使った遊びを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能の発達が著しく、保育者や友達と一緒に全身を使った遊びを楽しむ。 ・衣服の着脱や身の回りの事を自分でしようとし、できると意欲を高めて自信をもつ。 ・遊びの中で言葉のやりとりをしながら気持ちを表現し、友達との関わりを楽しむ。 ・保育者と一緒に戸外で遊ぶ中で、自然に触れたり、自然物で遊んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な言葉がほとんど分かり、自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達や保育者との会話を楽しんだりする。 ・集団遊びを楽しむ中で、ルールの理解度の違いが見られ、保育者の援助が必要なものもある。 ・一人でできることが増え、身の回りのことを自分でしようとしたり、喜びや自信を感じたりする。 ・異年齢の交流の中で、進級に向けての期待感が高まる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の流れを考ええた環境を作り、安心して快適に過ごせるようにする。 ○不安な気持ちや自己主張、欲求などを受け止め、安心して自分の気持ちを表せるようにする。 ●保育者や友達との触れ合いを通して、十分に遊びを楽しむ。 ●保育者や友達と一緒に、身近な自然に触れることを楽しむ。 ●保育者や友達の名前を呼んだり、簡単な言葉で思いを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○梅雨や夏の時期を気持ちよく過ごせるよう、衛生面や水分補給など体調管理に気をつける。 ○一人一人との信頼関係を深め、安心して自分の気持ちや要求を表せるようにする。 ●簡単な身の回りのことを援助されながら自分でしようとする。 ●友達と一緒に遊ぶ中で、関わりや会話を楽しむ。 ●水・砂・泥に触れ、夏の遊びを十分に楽しみ、開放的な気分を味わう。 ●自然に触れたり自然物で遊んだりする中で、興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気温の変化に応じて、衣服を調節するなど、健康で快適に過ごせるようにする。 ○自我の拡大による強い自己主張も肯定的に受け止め、欲求が満たされるようにする。 ●簡単な身の回りのことを自分でできる喜びを感じ、自分でしようとする。 ●生活や遊びの中で、保育者に仲立ちされて相手の気持ちや思いに徐々に気付けるようになる。 ●体を十分に動かして運動遊びを楽しむ。 ●秋の自然に触れながら、保育者や友達と戸外遊びや散歩を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○冬の感染症に留意しながら、健康に過ごせるようにする。 ○子どものやる気を認めることで、自信をもって活動できるようにする。 ●進級への期待をもちながら、意欲的に生活する。 ●簡単なルールや約束事が分かり、守りながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ●冬の遊びを十分に楽しみ、冬の生活の仕方を身に付ける。 ●保育者が言葉のやり取りを仲立ちする中で友達との関わりを広げる。 ●自分の思いを言葉にしたり、経験したことを話したりする。
健康／人間関係／環境／言葉／表現	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保育者や友達と一緒に食事をする。 ・尿意や便意を知らせ、トイレで排泄しようとする。また、トイレでの排泄に慣れる。 ・保育者に見守られながら、安心して眠る。 ・保育者に手伝ってもらいながら、衣服の着脱などを自分でしようとする。 ・散歩に出かけたり、戸外で体を十分に動かしたりして遊ぶ。 ・保育者と関わりながら好きな遊びを見つけたり、友達と同じ場所ですることで、友達と関わったりする。 ・自分のママーや場所を知り、安心して生活する。 ・春の草花に触れたり、虫を見つけたりしながら自然に触れる。 ・自分の要求を身振りや言葉で伝えようとする。 ・絵本に親しみ、友達や保育者と遊ぶ中で言葉のやり取りを楽しむ。 ・保育者と一緒に歌ったり、手遊びや簡単なリズム遊びを楽しむ。 ・ちぎる、丸めるなど指先を使った遊びを楽しむ。 ・簡単なごっこ遊びや見立て遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食具の持ち方を覚え、少しずつ上手に使えるようになる。 ・楽しみながら意欲的に食事をしようとする。 ・自分からトイレに行き、保育者に見守られながら排泄をする。 ・落ち着いた雰囲気の中で安心して一定時間眠る。 ・簡単な衣服の着脱を自分でしようとする。 ・自分で手洗いをしたり、タオルで拭いたりする。 ・水遊びやプール遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。 ・友達とのぶつかり合いを通して相手にも思いがあることを知る。 ・気の合う友達と一緒に、ままごとやごっこ遊びを楽しむ。 ・自然現象に興味をもったり、身近な小動物に親しんだりする。 ・水、砂、土、泥などに触れ、感触を楽しんだり、開放感を味わったりする。 ・簡単な挨拶を、保育者と一緒にしようとする。 ・生活や遊びに必要なことや自分の思いを言葉で伝える。 ・好きな歌を覚えて保育者と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。 ・クレヨン、のり、折り紙、絵の具など様々な素材に興味をもって触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で食べてみようとする気持ちが膨らみ、苦手な物も食べてみようとする。 ・尿意や便意を知らせてトイレに行き、パンツやズボンを全部脱がずに排泄しようとする。 ・簡単な衣服の着脱を自分で行い、脱いだ衣服を手伝ってもらいながら自分で畳もうとする。 ・手洗い、うがいを自分からしようとする。 ・模索活動を楽しんだり、全身を使った運動遊びをしたりする。 ・好きな遊びの中で、気の合う友達に自分の思いを伝えるなど、積極的に関わりながら一緒に遊ぶ。 ・生活や遊びの中で順番が分かったり、待たたりする。 ・散歩などを通じて、葉っぱや木の実などの秋の自然物に触れたり、遊びに取り入れれたりする。 ・自分の思いや要求などを、言葉で相手に伝えようとする。 ・保育者や友達と見たことや経験したことを伝え合い、言葉のやり取りを楽しむ。 ・音楽に親しみ楽器を鳴らしたり、友達と一緒にリズムに合わせて踊ったりして遊ぶ。 ・気の合う友達と一緒に、模倣遊びやごっこ遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーや流れがわかり、食器を持ち、食具を正しく使って楽しく食事をする。 ・尿意や便意を感じ、自分からトイレに行って排泄する。 ・服の裏表や前後を意識して着ようとしたり、脱いだ服を片付けたりする。 ・手洗い、うがいを自分からする。また、鼻水が出たら拭いたり、かもうとしたりする。 ・戸外で友達や保育者と全身を動かして遊ぶ。 ・異年齢児との交流を楽しみながら、大きくなることへの喜びを感じる。 ・友達や保育者と一緒に、簡単なルールを守りながら集団遊びを楽しむ。 ・霜、雪、氷などの冬の自然現象に興味をもち、触れて遊ぶ。 ・散歩などを通して身近な自然の変化に気づき、春の訪れを感じる。 ・身の回りの物の色・形に興味をもったり違いに気付いたりする。 ・言葉のやり取りのある遊びを通して、友達と関わり、言葉での表現を豊かにしていく。 ・いろいろな素材を使って製作や描画を楽しむ、伸び伸びと表現する。 ・友達とイメージを共有しながら、いろいろなごっこ遊びを楽しむ。

<p>☆環境構成</p> <p>◎援助・配慮</p>	<p>☆家庭的で温かみのある雰囲気を作り、ゆったりと過ごせるようにする。</p> <p>☆自分の身の回りのものが分かるように、靴箱やロッカーなどに個人用のマークを付ける。</p> <p>☆一人一人が好きな遊びを見つけられるようなコーナーを設定したり、おもちゃや絵本などが取り出しやすく、片付けやすいよう配置を考えたりする。</p> <p>◎食事、排泄、午睡などが不安なく身に付くように一人一人の成長の度合いを把握しておく。</p> <p>◎子ども一人一人が無理なく習慣を身に付けられるように、必要に応じて個別に丁寧に働きかけていく。</p> <p>◎育ちに合わせた歌や手遊びなどを取り入れ、ゆっくりに園に行く。</p> <p>◎季節に合わせた絵本を保育に取り入れ、絵本に親しみがもてるようにする。</p> <p>◎一人一人の思いを受け止め、無理強いせず、自分で行動できたという思いがもてるようにする。</p>	<p>☆室温や湿度に注意し、換気をしたり、エアコンを使用したりして、心地よく過ごせるように室内環境を調節する。</p> <p>☆帽子や水分補給の準備をすることともに、危険箇所がないか、戸外やプールの安全面を確認する。</p> <p>☆室内に花を飾ったり、季節に合わせた絵本を用意したりして、自然を身近に感じ、親しみがもてるようにする。</p> <p>☆様々な素材を準備し、子どもたちが色、形、大きさ、触の違いに気付いたり、じっくり遊んだりできるようにする。</p> <p>◎生活に必要なことが身に付くよう、保育者が一緒にいる、繰り返し伝えていく。</p> <p>◎一人一人の食事量や、好き嫌いなどを把握し、食べる楽しさを味わえるようにする。</p> <p>◎子どもが自分でできたことは共に喜び、できないことは部分的に援助し、自分でしようとする気持ちを大切にすること。</p> <p>◎水、砂、泥などを使った遊びの時は、全身で思い切り楽しめるよう工夫し、興味がもてるようにする。</p>	<p>☆気温や一人一人の体調、活動に合わせて衣服の調節を行う。また、換気を行い、気持ちよく過ごせるようにする。</p> <p>☆思い切り全身運動ができるように、走ったり跳んだりできる環境を安全に留意しながら設定する。</p> <p>☆ドングリや紅葉など、秋らしい装飾で部屋を飾り、季節を感じられるようにする。</p> <p>◎衣服の量み方など、一つ一つ丁寧に確認しながら行う。</p> <p>◎自分でしようとする気持ちを大切にし、見守りながらできることを手助けする。</p> <p>◎友達との関わりを見守りつつ、相手の思いや気持ちに気付けるように、言葉が不足しているときは代弁しながら、関わり方を知らせる。</p> <p>◎友達との関わりを増やしていくように、同じ遊びを共有したり友達との存在を意識したりできるようにしていく。</p> <p>◎散歩や園外へ出かけるときは、無理のないようにコースや時間を考慮する。</p>	<p>☆室内の温度・湿度に気を配り、快適に過ごせるようにする。</p> <p>☆進級に期待と安心感をもてるように、3歳児クラスと連携を取り、交流の機会を作っていく。</p> <p>☆ごっこ遊びを通して、子ども達のイメージが広がるような言葉掛けや環境設定をしていく。</p> <p>◎基本的な生活習慣の自立に向け、個人差を考慮しながら、できるようにした、次への意欲へつなげていく。</p> <p>◎遊びの中に簡単なルールを設け、それを意識できるように配慮する。</p> <p>◎子ども同士のやりとりを大切に受け止めながら、相手の思いや気持ちに気付けるよう関わりを深めていく。</p> <p>◎雪遊びや冬の自然現象に触れる中で、自然の不思議さに気付いたり関心をもったりするように関わっていく。</p> <p>◎絵本やお話を通して、イメージを膨らませて遊ぶ姿に共感し、言葉のやり取りの中でさらにイメージが広がるようにする。</p>
<p>家庭との連携</p>	<p>・新しい環境に対する不安や期待に共感しつつ、子どもの様子を共有し信頼関係を築いていく。</p> <p>・様々な機会を捉え、2歳児の発達過程を伝えながら、育ちの見通しが立つようにすると共に、個人差があることを伝える。</p>	<p>・感染症について、症状や予防方法、感染時の園の対応をあらかじめ知らせ、協力してもらう。</p> <p>・暑さで疲れが残ったりしやすい時期なので、早寝早起き・食事・睡眠等の基本的な生活環境を整えてもらう。</p> <p>・自己主張や癪癪は成長の過程で自我の育ちの表れであることを伝え、関わり方を話し合う。</p>	<p>・生活習慣については、子どもができることや自らしようとしている意欲を受け止め、家庭でも根気強く自立に向けて協力してもらう。</p> <p>・行事への取り組みや遊びを通しての成長を発信し、喜ぶ合うと共に、子どもを十分に認めてもらえるようにお願います。</p>	<p>・日々のやり取りの中で、一年間の成長や獲得した心情・意欲・態度を振り返りながら、喜びを共有する。</p> <p>・保護者の進級に対する不安や子ども一人一人の発達課題に丁寧に対応し、育ちの見通しが立つようにすることで、安心して進級を迎えられるようにする。</p> <p>・手洗いの仕方や感染症の発症状況、予防方法や感染時の園の対応を知らせ、協力をお願いする。</p>

11 3歳児カリキュラム

— 17 —

子ども像		豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、主体的に遊ぶ子ども			
期 月	1期 4月～5月	II期 6月～8月	III期 9月～12月	IV期 1月～3月	
健康 人間関係 環境 言葉 表現	(A)健康な心と体	<ul style="list-style-type: none">戸外で遊ぶ心地よさを感じて遊ぶ。保育者や周りの友達と一緒に楽しい雰囲気を食べる。保育者に手伝ってもらったり教えてもらったしながら簡単な身の回りのことをする。好きな遊びを見つければ、周りにいる友達や保育者と遊ぶ。様々な遊具や用具に興味をもって遊び、安全な使い方や遊び方を知る。	<ul style="list-style-type: none">水分補給や汗の始末など、夏を元気に過ごすための生活の仕方を知る。身近な遊具や玩具に興味をもち、自分から好きな遊びを見つけて遊ぶ。保育者や友達と過ごす中で様々な感情を体験しながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。身近な素材や用具の使い方を知り、保育者や友達と一緒に作ることを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none">走ったり、跳んだり、遊具や用具を使ったりして、様々な運動遊びに興味をもち、やってみようとする。衣服の調節、手洗いやうがいの大切さや仕方を知り、自分でしようとする。友達や異年齢児の姿に興味や関心をもち、模倣したり自分から関わって遊ぼうとしたりする。友達や保育者と一緒に、簡単なルールのある遊びを楽しむ。保育者や友達と一緒に、遊具や用具を決まった場所に片付けようとする。	<ul style="list-style-type: none">十分に体を動かしたり、様々な遊具や用具などを使った運動や遊びを楽しんだりする。衣服の調節、片付け、手洗いやうがい、食事の準備など、進んで身の回りのことを自分でしようとする。異年齢児や友達の姿を見て、自分で遊びや生活を進めようとし、進級することへの期待をもつ。気の合う友達と一緒に簡単なルールのある遊びをする。保育者の言葉掛けにより、友達の思いに気付く。
	(B)自立心				
	(C)協同性				
	(D)道徳性・規範意識の芽生え				
	(E)社会生活との関わり				
(F)思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none">春の自然の中で遊び、身近な生き物や草花を見たり触れたりする。	<ul style="list-style-type: none">夏野菜の生長に興味をもち、保育者と一緒に世話をしたり、収穫したり、旬の味を味わったりする。身近な草花や生き物などを見たり触れたり、保育者と一緒に世話をしたりする。	<ul style="list-style-type: none">地域の祭りを見たり参加したりして、遊びに介入する。好きな遊びを見つければ、繰り返し工夫して遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none">伝統行事や文化に触れて遊んだり、行事にまつわる食べ物について興味をもったりする。雪や氷など身近な冬の自然を見たり、触れたり、おもしろさを感じたりする。春の日差し、温かさや、草木の芽吹きから、春の訪れを知る。	
(G)自然との関わり・生命尊重					
(H)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	<ul style="list-style-type: none">絵本や紙芝居を喜んで見たり聞いたりする。	<ul style="list-style-type: none">自分の経験したことや思いを言葉や身振りなどで伝えようとする。	<ul style="list-style-type: none">季節の自然に親しみ、興味をもって見たり、触れたりし、遊びに取り入れたいりする。自然物を通して数、量、色、形、大小などの違いに気付く。簡単なストーリーの絵本や童話に興味をもって見たり、聞いたりする。	<ul style="list-style-type: none">雪や氷など身近な冬の自然を見たり、触れたり、おもしろさを感じたりする。春の日差し、温かさや、草木の芽吹きから、春の訪れを知る。	
(I)言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none">自分のしたいことや保育者にしてほしいことを言葉や動作で表現する。	<ul style="list-style-type: none">自分の経験したことや思いを言葉や身振りなどで伝えようとする。いろいろな歌やリズム遊びに関心を示し、歌ったり踊ったりすることを楽しむ。粘土や絵の具などの様々な素材に触れ、自分のイメージしたものを描いたり、作ったりする。リズムや曲に合わせて体を動かしたり、歌ったりする。好きな世界のイメージを自分なりに表現して遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none">友達とイメージを共有して役割を決め、ごっこ遊びを楽しむ。身近な素材や自然物を使って、イメージしたものを作る。音楽やリズムに関心をもち、曲に合わせてダンスやリズム打ちをするなど、楽器や体での表現を楽しむ。	<ul style="list-style-type: none">やりたいことや思ったことを伝えたり、聞いたりしながら、友達と関わり遊ぶことを楽しむ。絵本や物語の世界に親しみ、保育者や友達とイメージを膨らませながら劇遊びに必要な道具を作ったり、役に役になりきったりする。	
(J)豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none">身近な素材を使って、描いたり作ったりする。保育者や周りの友達と一緒に手遊びや歌などを楽しむ。				

子ども像 豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども				
期 月		Ⅰ期 4月～5月		Ⅱ期 6月～8月
健康		Ⅲ期 9月～12月		Ⅳ期 1月～3月
☆環境構成	(A)健康な心と体	<p>◎毎日同じ流れ、同じ方法で身の回りの始末などを手伝ったり一緒にしたりしながら、繰り返し伝えしていく。</p> <p>☆生活する場所や物が分かりやすいように、個人のマークをつけたり、表示を工夫したりする。</p>		<p>◎気候の変化の著しい時期なので、一人一人の体調把握して必要を援助を行い、健康に過ごせるようにする。</p> <p>☆行動範囲が広がっていくので、十分な時間の確保や環境の整備を行うとともに、遊びが充実するようにしていく。</p>
	(B)自立心	<p>◎生活経験や個人差に配慮しながら、一人一人の気持ちや思いを受けとめ、安心して生活できるようにする。</p> <p>◎保育者が率先して遊びのモデルになり、自分で気に入った遊びが見つけられるようにする。</p>		<p>◎寒くても戸外で体を動かして遊べるように活動的な遊びを取り入れる。</p> <p>◎友達同士で遊びを進めていく様子を見守り、必要に応じて遊びに参加したり、助言をしたりする。</p>
	(C)協同性	<p>☆安心して好きな遊びができるように、遊具や玩具の表示の仕方や配置を工夫する。</p>		<p>◎保育者が仲立ちとなり、簡単なルールやきまりを知らせながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを知らせていく。</p>
	(D)道徳性・規範意識の芽生え	<p>◎夏野菜の生長に興味関心がもてるように、一緒に話をしたり、子どもの発見や喜びを共有したりする。</p>		<p>◎自然現象や季節の変化に気付けるように機会を捉えて知らせたり、触れて遊んだりできるようにする。</p>
	(E)社会生活との関わり	<p>◎身近な春の自然に触れ合ったりしながら発見や驚きにもてるように誘ったりしながら発見や驚きを感じる。</p>		<p>◎友達と言葉のやり取りをしながらか遊び姿を認めたり、思いがすれ違ったときには、相手の思いに気付けるように仲立ちをしたりする。</p>
◎保育者の援助	(F)思考力の芽生え	<p>◎一人一人の子どもの気持ちを受容し、自分の気持ちや考えを安心して表せるようにする。</p>		<p>◎絵本や物語の世界に親しみ、イメージを膨らませられるように保育者が一緒にいきなり遊びを楽しむんだり、劇遊びに必要な道具や材料を準備したりする。</p>
	(G)自然との関わり・生命尊重	<p>◎子ども一人一人の発達段階や個性に合わせた援助を行う。</p>		<p>◎一人一人の子どもの一年間での成長を伝え、子どもも保護者も進級への期待や安心感をもてるようにする。</p>
言葉表現	(H)数量や図形、図識や文字などへの関心・感覚	<p>◎身の回りのことを自分でしようとする意欲を育む大切さを理解してもらい、急がさずに自分でしたいという気持ちに寄り添うことや、着脱しやすい衣服や靴、持ち物を用意してもらおうように伝える。</p> <p>・保護者が安心してできるように子どもの様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりしながらコミュニケーション、家庭や園での生活の様子を把握し、個人差に配慮しながら、健康に過ごすための生活リズムづくりを進めると共に、基本的な生活習慣の大切さを伝えていく。</p>		<p>◎子ども一人一人の発達段階や個性に合わせた援助を行う。</p>
	(I)言葉による伝え合い	<p>◎一人一人の子どもの気持ちを受容し、自分の気持ちや考えを安心して表せるようにする。</p>		<p>◎子ども一人一人の発達段階や個性に合わせた援助を行う。</p>
☆環境構成	(J)豊かな感性と表現	<p>◎一人一人の子どもの気持ちを受容し、自分の気持ちや考えを安心して表せるようにする。</p>		<p>◎子ども一人一人の発達段階や個性に合わせた援助を行う。</p>
	(K)地域との連携	<p>◎一人一人の子どもの気持ちを受容し、自分の気持ちや考えを安心して表せるようにする。</p>		<p>◎子ども一人一人の発達段階や個性に合わせた援助を行う。</p>

12 4歳児カリキュラム

子ども像		豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども			
期	月	I 期	II 期	III 期	IV 期
		4月～5月	6月～8月	9月～1・2月	1月～3月
健康	特徴	好きな遊びや保育者との触れ合いを通して新しい環境に慣れ親しむ時期	好きな遊びをしながらか周りの友達を意識する時期	保育者や友達と触れ合いながら遊びを楽しむ時期	友達と一緒に活動することを喜び時期
人間関係	(A)健康な心と体 (B)自立心 (C)協同性 (D)道徳性・規範意識の芽生え (E)社会生活との関わり (F)思考力の芽生え (G)自然との関わり・生命尊重 (H)数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 (I)言葉による伝え合い (J)豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活に楽しみを感じたり、不安を抱いたり、緊張したりしている。 基本的な生活習慣がある程度身に付いてきているが、保育者の手助けを必要とする子もいる。 気の合う友達と一緒に、好きな遊びを楽しんでいる。 ゲームや体を動かす遊びを集団で楽しんでいる。 保育者と一緒に行動することで安心し、周りの友達と関わろうとする。 戸外で、虫を捕まえたり、草花を集めたりすることを楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の汚れや汗に気付き、自ら着替えができる幼児が増えている。 友達と一緒に遊ぶ楽しさを知り、誘い合って集団で遊ぶことが多くなっている。 友達がしていることに興味をもち、やってみようとする。 夏野菜の生長を楽しみにし、保育者や友達と調理して食べることが多くなっている。 小動物に興味をもち、保育者や友達に喜んで知らせている。 砂、泥、水を使って友達と遊びながら、感触を楽しんだり、全身でダイナミックに遊ぶことを楽しんだりしている。 自然の素晴らしさや不思議さを、五感を通して感じ、保育者や友達に伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な運動遊びに興味をもち、友達と一緒に体を思い切り動かすことを喜んだり、繰り返し取り組んだりする。 友達が挑戦していることに興味をもち、真似たり自分もやってみようとしたりする。 グループによる当番活動があることを知る。 簡単なルールのある遊びを友達と一緒に楽しみながら、互いに刺激し合い、遊びが広がっている。 手先が器用になり、じっくり製作をしたり、自分で作ってみようとしたりしている。 秋の自然物を、拾ったり集めたりしながら、様々な遊びを楽しんでいる。 気の合った友達と好きな遊びをしながら、互いに自分の思いを伝え合いながら遊んでいる。 友達との関わりが多くなっていく中で、互いの思いがうまく伝わらず、トラブルになることもある。 楽器の種類や鳴らし方を知り、友達と一緒に歌ったり、合奏などを一緒にしたりする雰囲気を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進級への期待が膨らみ、生活や遊びに意欲的に取り組む姿が見られる。 友達とのつながりが深まり自分の思いや考えを表したり、友達の思いを受け入れたり、我慢したりする気持ちが育っている。 ルールがある遊びを楽しみ、決まりを守るようにする気持ちが芽生えている。 とんどこや節分やひな祭りなどの行事に興味をもって参加したり、伝統行事にまつわる食に興味をもったりしている。 カルタやコマ回しなどの正月ならではの遊びを、友達と一緒に楽しんでいる。 雪、氷、霜柱など身近な自然に気付き、喜んで見たり、触ったりしている。 友達との遊びの中で自分の気持ちを上手に伝えられなかったり、相手の気持ちを受け入れられなかったりしてトラブルになることがある。 友達と一緒に発表会で使う小道具を使ったり、劇遊びやリズム遊びを楽しんだりしている。 友達と共通のイメージをもって遊びを進められるようになってきていて、役割分担をしたり、やりとりを楽しんだりする。
健康	特徴	<ul style="list-style-type: none"> 新しい保育者や友達に親しみをもち、喜んで登園する。 保育者や友達などとの安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。 自分の好きな遊びを見つけたり、保育者や友達と興味のあつた遊びを一緒に楽しんだりする。 生活の仕方が分かり、できることは自分できるようとする。 園の給食を楽しみに、みんなと一緒に食べることがを喜ぶ。 身近な春の自然に親しみ、興味や関心をもつ。 自分の思ったことを保育者に言葉で伝えようとする。 保育者や友達と一緒に歌ったり、手遊びをしたりして楽しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 脱いだ服を自ら畳んだり、気候や活動に合わせて衣類を調節しようとしたりする。 自分で好きな遊びを見つけ、友達と触れ合いながら一緒に遊ぶ楽しさを知る。 砂、土、泥、水などの素材に触れて感触を楽しんだり、全身を使って十分に遊んだりする。 夏の自然に興味をもったり、遊びに取り入れたりする。 栽培物を収穫して食べ、味覚を上げたり、食べることの楽しさを味わったりする。 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びや表現遊びを通して、友達や周りの人とのつながりを深め、集団で共同して活動することを楽しむ。 自分の役割をもつことを喜び、友達と一緒に活動しようとする。 簡単なルールのある遊びを喜び、友達と一緒に活動したり、遊びに必要な物を自分なりに考えて作ったりする。 遊びや生活の中で共通のイメージをもち、友達と興味や考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを味わう。 秋の自然物を通して、数・量・形の違いなどに興味をもち、見たり、触れたり、集めたりする。 秋の自然に触れ、収穫の喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 外で体を十分動かして遊ぶことを進んで行い、健康で快適な生活を送る。 食の大切さを理解し、食に関わることに関心をもつ。 異年齢児に関心をもち、積極的に関わる。 進級への期待をもち、様々な活動に自信をもって取り組む。 身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感ずる中で、面白さ、不思議さ、美しさなどに気付く。 友達と興味を出し合い、イメージを膨らませながら、みんなで遊びを進める楽しさを味わう。 個々のイメージを大切にしながら、友達と協力し、一つの作品を作り上げる達成感を味わう。

多可町教育・保育カリキュラム (4歳児)

子ども像		豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども			
期	月	I期 4月～5月	II期 6月～8月	III期 9月～12月	IV期 1月～3月
健康	(A)健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの雰囲気慣れ、保育者や友達の名前を知って親しみをもつ。 ・戸外で身体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。 ・食事のマナーを知り、保育者や友達と楽しく食べる。 ・園での一日の流れや生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者や気の合う友達と一緒に遊ぶ。 ・園生活に必要な決まりや約束があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達に親しみをもち、関わって遊ぶ。 ・梅雨や夏を健康に過ごすために必要な生活の仕方を知る。 ・水遊びやプール遊びなどに親しみ、水の心地よさを全身で感じる。 ・自分で汗の始末や水分の補給をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気候や活動に応じて水分補給や衣服調節を自分で気づいて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児と活動する中で憧れの気持ちもち、進級に期待をもつ。
	(B)自立心			<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動用具を使って、十分に体を動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いがいいなど、健康で快適な生活に必要なことが分かって進んでしようとする。
人間関係	(C)協同性			<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動を楽しみにし、仕方が分かって進んでしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の良さに気付いたり、相手を受け入れたりしながら友達と一緒に活動する。 ・同学年で取り組む活動を通して、仲間としてのつながりを感じていく。
	(D)道徳性・規範意識の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に必要な決まりや約束があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある遊びを楽しむ、約束を守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、ルールのある遊びを楽しむ。 ・共同の道具を大切に、みんなで使ったり片付けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に簡単なルールを決めたり守ったりして遊ぶ。 ・様々な正月の遊びに興味をもって遊ぶ。
環境	(E)社会生活との関わり			<ul style="list-style-type: none"> ・年長児に憧れの気持ちもち、同じようにやってみようとする。 	
	(F)思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・植物を観察したり、触れたりすることで興味や関心をもつ。 ・夏野菜や花の苗を植え、生長を楽しみにして世話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂や泥、水の感触を味わいながら、試したり発見したりして楽しむ。 ・身近な生き物に触れたり、世話をしたりして親しんだり、草花を集めて遊んだりする。 ・栽培物の収穫を喜び、食べることを楽しんだり、苦手の物でも少し食べてみようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然物を通して、数や量などに興味もち、数えたり、比べたりすることを楽しむ。 ・木の実や木の葉などの自然物を使って、遊ぶことを楽しむ。 ・自然の美しさにふれて感動したり、風の心地よさを感じたりする。 ・秋の味覚に興味、関心もち、楽しく食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・草木や風の様子などに気付き、冬から春への自然の変化を感じる。 ・雪や氷、霜柱などの感触を楽しみ、遊びに取り入れる。
言葉	(G)自然との関わり・生命尊重				<ul style="list-style-type: none"> ・文字・数・形・色などを生活や遊びの中に取り入れ関心をもつ。
	(H)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話に親しみをもって聞いたり、保育者と話したりして、様々な言葉に興味をもつ。 ・自分の思いや要求を自分なりの方法や言葉で保育者に伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や友達との遊びの中で必要な言葉の使い方に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを相手に伝えようとして、相手にも思いがあることに気付いたりする。 	
表現	(I)言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、紙芝居を読んでもらうことを喜び、物語の楽しさに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや経験したことを保育者や友達に言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居に親しみ、興味をもって聞いたり想像したりする楽しさを味わう。 ・友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、自由に動きを表現したりする楽しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や物語などを通してイメージを膨らませ、登場人物になりきって自分なりに表現することを楽しむ。 ・遊びに必要な物を工夫して描いたり作ったりして、それを使って友達と遊ぶ。
	(J)豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に歌を歌ったり、手遊びをしたりして楽しさを感じる。 ・身近にあるいろいろな道具や素材に親しみ、自由に描いたり作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居を見たり聞いたりして物語や言葉のおもしろさに気付く。 ・歌や曲に合わせて歌ったり、楽器を使ったり体を動かしたりして楽しむ。 		

豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども				
子ども像	期			
	I 期 4月～5月	II 期 6月～8月	III 期 9月～12月	IV 期 1月～3月
健康 (A)健康な心と体 (B)自立心 (C)協同性 (D)道徳性・規範意識の芽生え (E)社会生活との関わり (F)思考力の芽生え (G)自然との関わり・生命尊重 (H)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (I)言葉による伝え合い (J)豊かな感性と表現	◎子どもが保育者に安心して思いを表出できるよう不安を受け止め、丁寧に寄り添い信頼関係を築いていく。 ☆身辺整理や遊んだ後の片付けが自分でできるよう玩具や道具等の片付け場所を明確にしておく。 ☆自ら遊びに取り組めるように遊具や用具の配置や表示などを工夫し、環境を整える。 ◎遊具、道具の安全な使い方を知らせたり、子どもが気付いたりできるようにする。 ◎身近な春の自然に触れ一緒に遊んだり、興味をもてるように誘ったりしながら、驚きや発見に共感する。 ◎子どもと一緒に遊びながら、興味や関心を把握し、一人一人の気持ちを引き出していく。	◎水分補給の大切さや夏の生活の仕方を知らせたり、環境を整えたりして、健康に過ごせるようにする。 ☆温度や湿度の変化に留意し、水分補給をこまめに行う。また気温に応じて空調設備を調節する。 ☆子どもたちの思いに共感し、同じ場にいる子ども達がつながる楽しい雰囲気を作る。 ◎水遊びやプール遊びが発展していくように、保育者が一緒に遊び、遊びの提案をする。 ☆夏ならではの遊びを通して存分に開放感が味わえるように環境を整える。 ◎トラブルが起きた時は、保育者が話を聞いて仲介し、自分の気持ちが表現できるようにし、相手の気持ちにも気付けるようにする。 ◎会話をすることが楽しめるように、一人一人の話をよく聞き、思いを受け止めながら、自分の気持ちを表現できるようにする。	◎十分に体を動かす心地よさを味わえるように、場や遊び方を考えて提案したり、一緒に活動したりする。 ◎同じ物や場でつながっている嬉しさ、喜びに共感し、友達の存在を感じられるようにする。 ◎目標をもち自分なりのやり方で取り組む姿を支援、子ども同士が互いに認め合える関係を築き、頑張ったことへの手ごたえや自信、誇りにつながるような仲間作りをする。 ☆秋の自然に触れる機会を多くもち、子どもの発見や驚きに共感し、クラス全体に広げる場をもつ。 ☆自然物で遊んだり、遊びに必要な物を作ったりできるように材料や用具を準備しておく。 ◎数量や図形、位置などを生活や遊びの中に取り入れ、結びつけることができるようにしていく。 ◎一人一人の思いを大切にしつつ、友達の思いや考えを伝え合えるように仲立ちをしたり、見守ったりする。 ☆絵本やお話などから、夢を広げて遊べるように環境を整える。	☆室内の温度や湿度の変化に留意し、快適に過ごせるように換気や加温をする。 ☆自分たちの成長を感じたり、進級に期待をもてたりするよう、5歳児の当番や生活などを見る機会や色々な仕事を体験できる機会をもつ。 ◎一人一人が自分の役割を果たせるように、個々や集団への援助をしていく。 ☆季節の行事や伝承遊びができるように材料や用具を準備する。 ◎次の活動や明日への期待と見通しをもつことを大切にし、子どもの気付きや考えに保育者も共感するなど、意欲的に過ごせるようにする。 ◎冬の自然現象との出合いを見逃さず、子どもの気付きを受け止め、共感する。 ◎様々な表現方法の中で、一人一人の良さが確かめ合えるよう言葉掛けに配慮し、友達同士で相手の良さを認め合えるような機会を意図的にもつ。 ◎一人一人の発想や表現に共感して、みんなでイメージを共有して遊べるようにする。
	・友達との関わりが深まるとともに、トラブル等が増えてくる時期であることや、その中で相手の思いに気付いたり、言葉で思いを表現しようとしたりする姿を家庭に丁寧に伝える。 ・園での子どもの様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりして伝え合う機会を多くもち、信頼関係を築く。 ・園児の生活や遊びの様子をクラスだよりや写真掲示、連絡帳などで分かりやすく伝えることで、安心して園生活を見守ってもらえるようにする。	・水遊びやプール遊びがあるので、子どもの毎日の健康カードの記入をしてもらうことをお願いする。 ・疲れが出やすく感染症も出やすい時期なので、体調管理について家庭との連携をもつ。 ・子どもの成長について考え合ったり、喜び合ったりできるように保育参加や個別懇談を行う。	・運動会の取り組みなどでは、子どもの姿を“できる”“できない”の表面的な出来栄で捉えるのではなく、子どもの気持ちの揺れや、内面の成長に共感してもらえらるよう伝える。 ・季節の変わり目で体調を崩したり、感染症も出てきたりするので、体調管理に配慮してもらい、園で感染症が出た時には、早めに連絡をして予防の心がけてもらう。 ・薄着の習慣や手洗い・うがいなど冬の生活習慣が身に付くよう配慮してもらう。	・一人一人の子どもの一年間での成長を伝え、子どもも保護者も進級への期待や安心感をもてるようにする。 ・感染症について家庭でも予防の心がけてもらう。 ・感染症が園で出た場合は、早目に知らせ、気を付けてもらうようにする。 ・年長児になることへの期待がもてるように、保護者と子どもの成長を書き合ったり、話したりする場をもつ。
	・近隣の方やお世話になっている方と挨拶を交わす事で、交流のきっかけをつくる。 ・長期休み中の、地域での安全で楽しい過ごし方、行事や催しの情報提供をし、積極的に参加を促すようにする。 ・園行事の中で、園や園児の生活を公開していく。 ・施設（図書館・公園）などを活用しながら、地域とのつながりを感じられるようにする。			
	・地域との連携			

13 カリキュラム (期毎)

5歳児I期 (4月～5月)

子ども像：豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども

園児の姿	ねらい	内容	☆環境構成 ◎保育者の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣はほぼ身に付いているが、保育者の言葉かけが必要な園児もいる。 ・3、4歳の頃に5歳児が取り組んでいた遊びに挑戦しようとしている。 ・5歳児になったことに喜びと自覚を感じ、張り切って行動している。しかし、新しい環境に戸惑い緊張気味、不安げな園児もいる。 ・好きな遊びを見付け、楽しむ姿が見られる。中でも、固定遊具や乗り物、砂場等で遊ぶ園児が多い。 ・気の合う友達と好きな遊びを見付け楽しむ姿が見られる。 ・相手の思いに気付かず、自分の思いを主張することが多いので、トラブルやぶつかり合いが起こることがある。 ・5歳児になり、きまりやマナーを守って生活しようとして張り切っている。 ・草花を見たり摘んだり遊びに取り入りたりしている。 ・虫を探したり動植物に触れたりしている。 ・自分で絵本を見たり、保育者に絵本や紙芝居等を読んでももらったりすることを楽しみにしている。 ・自分の思いや考えを話したいという思いが強いが、言葉でうまく表現できないことがある。 ・自分のつくったりしたいものをつくったり、好きな絵をかくたりしている。 ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児になった喜びや自覚をもち、健康、安全な生活に必要な活動を進んで行う ・よいことや悪いこと、きまりの大切さなどに気付き、考えたり守ったりしながら行動しようとする ・友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ ・春の自然に親しみ、興味や関心を深める ・身近な動植物に親しみをもちて接し、生命の尊さに気付く ・絵本や紙芝居などを見たり、先生や友達の話の話を聞いたりすることを楽しむ ・自分の思いや考えを発表したり、友達に伝えたりする ・いろいろな素材に親しみながら、好きなものをかいたりつくったりすることを楽しむ ・友達や先生と一緒に歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児になったことの喜びを味わう ・基本的な生活習慣について確認し、できることは自分たちでする ・危険なものや場所が分かり、安全に気を付けて遊ぶ ・様々な活動に興味をもって取り組む ・親しみをもちて日常の挨拶をする ・園生活の中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする ・友達によいことや悪いこと、園でのきまりなどを伝える ・進んで当番の仕事をする ・新しい友達や先生と関わることを楽しむ ・年下の友達に関心をもち、知っていることを教えたり、手伝ったりする ・戸外の自然に触れ、発見したことを喜んだり、友達や先生に伝えたり、一緒に調べたりする ・友達や先生と一緒に飼育物や栽培物に触れたり、世話をしたりする ・絵本や紙芝居などに親しみ、興味をもつて見たり聞いたりする ・自分の思いや考えを言葉で伝える ・経験ある素材や用具を使って、楽しみながら製作をする ・友達や先生と一緒に季節の歌を歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ☆園全体の空間や遊具の配置は、園児の自然な活動の流れにあるよう動線に配慮し、工夫する。 ☆園や新しい学級が心地よく楽しい場所であると感じられるように、家庭や前年度の生活の中で親しんでいた遊具や材料等を準備する。 ◎災害時や緊急時の対処の仕方は、園児の実情に合わせていく。 ◎安定期をもつて生活できるように、一人一人の内面理解に努め、思いや考えを受け止めながら信頼関係を築いていく。 ☆好きな遊びが十分に楽しめるように、場や時間を確保する。 ◎様々な活動を通して、試みたり努力したり思いやりしたりしていることを認め、5歳児となった自覚がもてるようにする。 ◎園児が好きな遊びを思う存分する中で、保育者も共に遊びに加わりながら、園生活のきまりや友達との関わり方に気付けるようにする。 ◎当番活動や飼育、栽培活動をする中で、保育者が園児に感謝の気持ちや伝え、他者の役に立っているという満足感が味わえるようにする。 ☆身近な自然に目を向けられるように園内外の自然に触れる機会を多く設けたり、見たり調べたりできるように図鑑や絵本を用意したりする。 ◎生命や人権に関わることなどは、明確に伝えるようにする。 ◎絵本や紙芝居を読むときは落ち着いた雰囲気をつくり、一人一人が絵本や物語の世界に浸り込めるようにする。 ☆集団の場で発表する機会を設ける。 ◎園児が自分の思いを伝えにくい時は、代弁したり補足説明したりする。 ◎園児が表現したものを認めたり、イメージを共有したりして、自信や意欲がもてるようにする。 ◎季節の歌や知っている歌をみんなで歌ったり、リズムカルなダンスや体操、リズム遊びをしたりし、表現する楽しさが十分に味わえるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやホームページ等で、学級の経営方針や保育内容を知らせ、保護者の理解と協力を得る。 ・機会を捉え、園児の生活環境や保護者の考え方を聞いたり園での様子を伝えたりし、園児や保護者との信頼関係を築く。 ・緊急時の対応について措置と連絡方法を保護者に伝え共通理解し、非常時に備えておく。 ・地域の人々と触れ合うことが楽しめるように、園周辺を散歩する機会を多く設けたり保育者が積極的に交流する姿を見せたりする。 ・小学校で卒園児の生活を見たり、小学校の教諭と卒園後の成長や課題について話合ったりする機会をもつ。 			

5 歳児Ⅱ期（6月～8月） 子ども像：豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども

園児の姿	ねらい	内容	・ ☆環境構成 ◎保育者の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の調節や汗の始末、水分補給等において、自ら気付き進んで行うことが難しい。 ・ 砂や水をダイナミックに使い、夏ならではの遊びを友達と一緒にしている。 ・ いろいろな運動遊びに興味をもち、進んで取り組みようとしている。 ・ 友達からの刺激を受けながら、自分なりに目的をもって取り組みようとしている。 ・ 新しい環境になれ、様々な遊びに興味をもち、気の合う友達と参加する中で、友達関係を広げている。 ・ 相手の存在や思いに気付きながらも自分の気持ちを抑えられず喧嘩になることがある。 ・ 年下の子に対して気にかけてたり、優しく接したりしている。 ・ 身近な動植物への興味や関心が増し、世話をしたり絵本や図鑑で調べたりしている。 ・ 育てた野菜を収穫したり料理して食べたりしている。 ・ 園内外の自然や地域の環境に興味や関心をもち、遊びに取り入れようとしている。 ・ 思いや考えを伝えようとするが、相手にうまく伝えられないことがある。 ・ 自分の興味のある事柄に対して、注意をして話を聞こうとしている。 ・ 保育者に仲介してもらいながらクラスの友達や保育者等の前で発言しようとする姿が見られる。 ・ 遊びに必要なものに気付き、自分で考えてつくろうとしている。 ・ イメージしたものを砂や泥など様々なものを使って表現しようとしている。また、友達とイメージを共有しながら遊びを進める姿も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体や健康への興味：関心を深める ・ いろいろな遊びに興味をもち楽しむ中で、開放感や充実感を味わう ・ いろいろな遊びの中で体を十分に動かす楽しさを味わう ・ 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする ・ 身近な環境に積極的に関わる中で、性質や仕組みなどに興味や関心をもつ ・ 夏の自然現象や自然物への興味や関心を深めると共に、生活や遊びに取り入れることを楽しむ ・ 思いや考えを自分なりの言葉で伝える喜びを味わったり、友達や先生の思いや考えに気付いたりする ・ 遊びや生活に必要なものを考え、試ししたり工夫したりしながらつくることが楽しむ ・ 感じたこと、考えたことなどを音や動き、絵などで表現する楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の体に関心をもち、健康で安全な生活をするための習慣を身に付ける ・ 気候の変化に応じて、衣服の調節をし、水分補給、清潔の習慣を身に付ける ・ 夏ならではの遊びに進んで取り組み、試したり、工夫したりする ・ 水、砂、土などを使って友達とイメージを共有し、ダイナミックに遊ぶ ・ いろいろな運動の仕方を知り、目的をもって挑戦したり、ルールを守ったりして遊ぶ ・ 友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付く ・ 友達と互いに思いや考えを出し合いながら、協力したり助け合ったりして遊びを進めていく ・ 地域のいろいろな人と関わって遊ぶ ・ 年下の子と生活を共にし、関わりを深める ・ 梅雨から夏の自然現象（雨、雲、空、星）に興味や関心をもつ ・ 身近な自然に触れ、気付いたことや驚きを友達と伝え合い共感したり、一緒に調べたりする ・ カエルやカタツムリなど身近な動物に親しみをもち、触れる中で生命の尊さに気付く ・ 花や野菜の生長や収穫を楽しみにしながら世話をし、遊びに使ったり、料理をしたりする ・ したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分らないことを尋ねたりする ・ 友達や先生の話の聞き、思ったことや感じたことを言葉で伝え合う ・ いろいろな素材に親しみ、試したり考えたり工夫したりする ・ 水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れる音楽に親しみ、友達と一緒に歌ったり、楽器を使ってリズム遊びをしたりする ・ 友達表現を、興味をもって見たり一緒に表現することを楽しむ ・ イメージしたものにきりきり、全身で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ☆環境構成 ◎保育者の援助 ◎園児の生活の実態を把握し、一人一人に応じた援助を行う。 ☆開放感を味わい、のびのびと遊ぶことができるように、土や水で遊べる場や時間を十分に確保する。 ◎水や砂の性質や不思議さに気付いたり、試行錯誤したりできるように園児の好奇心や探求心を大切にしている。 ☆自ら進んで取り組み場や活動を多くすると共に、一人一人が力を試せるような場を設ける。 ◎遊びの見通しがもてるように共に考えたり、やり方を知らせたり、励ましたりしながら、やり遂げた達成感や満足感を味わえるようにする。 ◎いろいろな人との交流を通じて思いやりの心を育むと共に、憧れの気持ちをもったり自分の成長に気づいたりできるようにする。 ◎身近な自然に触れる機会を多くもち、命の大切さを感じる体験ができるようにする。 ◎季節感や動植物の営みが感じられる絵本や物語を読み聞かせ、想像する楽しさを味わえるようにし、イメージや言葉を豊かにしていく。 ☆友達同士で話し合うことが楽しめるように、2人組や小グループでの活動を取り入れる。 ◎うまく伝え合いができない場合は保育者が仲立ちをし、互いの思いや考えに気付かせていく。 ☆安心して話ができるような温かい雰囲気作りをする。 ☆いろいろな素材や用具を準備し、考えたり試したり工夫したりしながら友達と一緒に楽しめるようにする。 ◎園児が試行錯誤をしながら考えを巡らせている時間を大切にしている。
<p>家庭・地域・小学校との連携</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断や検査結果等を家庭に伝え、事後措置や日々の健康管理について連絡する。 ・ たよりを通して園児の遊びや生活の様子を伝えたり、機会を捉えて保護者と話し合ったりする。 ・ 栽培や収穫、クッキング、給食等を通して、園児や保護者の食育への関心を高めていく。 ・ 多可町内の他園の友達へ親しみがもてるよう、交流会を行う。 ・ 園を地域に開放する機会を設け、地域の未就園児や中高生、高齢者などと触れ合えるようにする。 ・ 子ども会や地域の行事などに参加し、経験を広げることができるよう働きかける。 ・ 就学後に支援を必要とする園児については保護者と話し合い、今後の課題を考えた上、小学校への引き継ぎについて一緒に考えたりする。 ・ 小学校教諭と、保育参観や授業参観、意見交換等を行う機会を設け、連携を深める。 	

園児の姿	ねらい	内容	☆環境構成 ◎保育者の援助
<ul style="list-style-type: none"> 一度身につけた基本的な生活習慣がくずれることがある。 運動的な遊びが活発になり、自分の目標をもったり友達と競い合ったりして積極的に遊ぶ姿がみられる。持続性も出てきている。 仲間意識が高まり、友達と力を合わせて頑張ろうとしたりやり遂げることで喜びを感じたりしている。 友達と共通の目的をもち、その目的に向かって相談したり役割を分担したりして協力しながら遊びを進め、つながりやを深めている。 ルールのある集団遊びを好んでしている。 競争心から勝ち負けにこだわり、正しいことが分かっているでもルールが守れなかったり、友達から指摘されると素直に受け入れられずに意地を張ったりする姿が見られる。 異年齢の活動で、年下の子の歩調に合わせたり、気持ちを止め止めて譲ったりしている。 地域の施設や催し、出来事などへの興味や関心が高まっている。 秋や初冬の自然に触れ、美しさ、不思議さ、色、形、大きさなどへの興味や関心が高まっている。 文字や数量、図形などに関心をもち、読んだりがいたりする姿が見られる。 自分の思いや考えを友達に分かるように伝えようとしている。 友達や保育者の話を注意して聞こうとしている。 友達への思いや考えを聞きながら一緒に遊びを進めようとしている。 遊びに必要なものを自分なりに考え工夫しながらつくろうとする姿が見られる。 いろいろな材料や用具などの特性や仕組みが分かり、目的に合わせて使おうとする姿が見られる。 友達と一緒に、体験したことを再現したり、思いや考え、イメージなどを様々な方法で表現したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に興味や関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んでいる。 自分なりの課題をもって活動に取り組む、充実感や達成感を味わう。 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう。 地域の身近な人や施設、行事などへの興味や関心を広げる。 身近な秋の自然に触れる中で、自然の美しさや不思議さ、おもしろさを感じ、探求心や好奇心を深める。 遊びの中で数量や図形などへの興味や関心を深める。 自分の思いや考えを話したり、相手の思いや考えを聞いたりし、折り合いをつけながら一緒に遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。 グループの友達と一緒に思いや考えを出し合いながら一つのものをつくらう。 イメージを広げ、いろいろな素材を使い様々な方法で表現する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、汗の始末、うがい、衣服の調節などを進んでいる。 食べ物への興味や関心を通じて、自ら進んで食べようとする気持ちをもつ。 戸外で積極的に運動し、挑戦したり競い合ったりして遊ぶ。 さまざまな運動遊びや集団遊びを通して、ルールをつくったり変えたりしながら発展させて遊ぶ。 友達と相談したり協力したり役割分担したりしながら、遊びや生活を変えたり発展させたりする。 遊びの中で役割分担したり、協力したりする。 自分たちでトラブルを解決しようとする。 友達のよさに気付く、互いに認め合いながら遊びを進める。 公共施設や交通機関を利用したり、地域の行事に参加したりする。 自然がもつ不思議さ、美しさ、気候の変化などに気付く。 自然物を使ってごっこ遊びや製作などをする。 秋の収穫の喜びを味わい、感謝の気持ちをもち数えたり、量を比べたり、様々な形に気付いたり知ったりする。 国旗に親しみ、いろいろな国に関心をもつ。 生活や遊びの中で文字や数字、時間に関心をもつ。 友達と、自分もっているイメージを伝え合う。 自分の思いや考えを相手に分かるように話したり、相手の思いや考えを聞き受け入れたりする。 遊びや生活に必要なものに気付く、試したり工夫したりしながらつくっていく。 様々な素材や用具を目的に合わせて使い、工夫しながらつくっていく。 友達と一緒に考えた遊びや一緒につくった作品を見せたり伝えたりする。 音楽に親しみ、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、気持ちを合わせて合奏したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎一つ一つの生活習慣の意味を再確認し、自ら行えるように配慮する。 ☆食べ物への興味や関心が高まるように、収穫体験やクッキングの場等を設ける。 ◎いろいろな遊びに意欲的に取り組んでいる姿や努力している姿を認めたり、できるようなことに誘う。 ◎集団で遊ぶ楽しさに共感し、友達と協力することや集団遊びの楽しさに共感し、友達と協力することや集団遊びの中から出てくる個々の感情を大切に受け止める。 ☆友達と協力したり役割分担したりしながら遊びを進めているように、話し合いの場や時間を大切にしている。 ☆行事や活動に対して意欲をもつて取り組めるように、園児同士で話し合える場を多く設けたり、園児のアイデアを多く取り入れたりする。 ◎トラブルを自分たちで解決しようとしている姿を温かく見守る。うまく解決できない場合は保育者が仲介し、解決できるようにする。時には学級全体の問題としてとりあげ、みんなの問題として考える機会をもつ。 ☆園内外の自然の様子や公共施設、公共機関、地域の行事などについて把握し、好機をとらえて園外へ出かけられるよう計画をたてる。 ☆直接的な体験や触れ合いができる場を多く設けたりきかけたりをしたりし、好奇心や探求心が深まるようにする。 ☆自然物を取り入れた遊びができるよう、多種類の木の葉や木の葉、草の実などを、園児の目にとまりやすいところに置いておく。 ☆自国や諸外国への興味や関心が高まるように、それぞれの文化や伝統に触れる機会を設ける。 ◎話を集中して聞くことができれば、落ち着いた雰囲気をつくりだすことができるように、話し合いの形態等を工夫したりする。 ☆物語の場面を想像したり、続きを予想したりすることが楽しめるような展開話を用意する。 ☆イメージを膨らませたり様々な方法で表現したりすることが楽しめる道具や用具、素材等を用意する。 ◎一人一人の発想や工夫を大切に、園児自身が主体的に表現できるようにする。また、周りの園児にも知らせ、互いに刺激し合ったり認め合ったりできるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域・小学校との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 行事や活動に向けて意欲的に取り組み頑張っている姿を保護者に知らせ、共に成長を喜び合う。 風邪やインフルエンザなどの感染症が流行しやすい時期には家庭でも予防の習慣がつくように配慮を依頼する。 身近な自然の変化や秋の気候の快さに家庭でも目を向けてもらえるように、地域の人々や公共施設と連絡を取り合い、園の活動に協力してもらえようとする。 園児の興味や関心に合わせて園外へ出向くことができるように、意図的に行き先を決めて意見交換ができるように、場の設定を小学校に依頼する。（幼児教育研修事業、連絡会等） 		

5歳児Ⅳ期（1月～3月）子ども像：豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども

園児の姿	ねらい	内容	☆環境構成 ◎保育者の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・病氣予防への意識が高まり、進んで手洗いやうがいをする姿が見られる。 ・以前に挑戦してできなかった遊びに、再び挑戦し努力しようとしている。 ・就学への期待が高まり、小学校の話題が増えている。 ・卒園する寂しさや環境が変わることへの不安などを感じている姿が見られる。 ・友達と協力して活動に取り組む中でお互いのよさや頑張りを認め合い、仲間意識を強めている。 ・生活発表会などの活動を契機に、友達関係が一層深まり、見通しをもち協力して遊ぶ姿が多く見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な活動を再確認し進んで行おうと共に、自分たちで生活の場を整えたり見通しをもって行動したりする ・心と体が成長したことへの喜びを味わいながら、就学への期待を高める ・グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう ・冬の自然事象や春の訪れに気づき、調べたり遊びや生活に取り入れたりする楽しさを味わう ・伝統的な行事への興味や関心を深めたり、伝承遊びを友達と楽しんだりする ・生活の中で文字や絵などを使って思いや考えを伝える楽しさを味わう ・自分の思いや考えなどを大勢の前で話す喜びを味わう ・学級の友達と考えたり協力したりしながら、いろいろな方法で表現する楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な生活習慣が身につく、自ら進んで行う ・時間の流れや場の使い方を、予測しながら遊びや生活を進める ・寒さに負けず、友達と一緒に全身を使った遊びを楽しむ ・園生活を振り返り、成長を喜び、自信をもつと共に周りの人たちに感謝の気持ちをもつ ・体験入学や登校体験などの行事に参加し、就学への期待をもつ ・共通の目的に向かって取り組み、役割を分担したり、協力したりしながら遊びをつくり上げていく ・友達と共通の目的に向かって活動する中で、相手の思いや考えに気付き受け入れようとする ・互いによさを認め合いながら一緒に遊びや生活を進める ・年下の子に積極的に関わり、知っていることを伝えようとする ・飼育当番の方法を4歳児に責任をもって伝える ・戸外へ積極的に出て、季節の変化に気付いたり、発見したことを図鑑で調べたりする ・正月遊びや伝承遊びに親しむ中で、友達と相談したり競ったり協力したりする ・日常生活の中で文字や数字、簡単な標識を見たり使ったりする ・友達とイメージを出し合い、広げたり深めたりしながら遊ぶ ・自分がつもイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする 	<ul style="list-style-type: none"> ☆生活習慣が身に付いているか、できるようになっているか見直す機会を設ける。 ◎園生活を振り返る中で、自分や友達の成長に気付いたり、様々な人に支えられていることに気付いたりできるようにする。 ☆カレンダーに予定をかき込んだり、時計をよく見える場所に設置したりして、活動の見通しをもち、時間を意識して行動できるようにする。 ☆小学校生活への移行がスムーズにできるように、小学校体験入学や登校体験、他園の友達と交流できる場などを設ける。 ☆グループや学級全体で共通の目的をもって話し合う機会を多く設ける。 ◎友達の考えを取り入れながら、生活や活動を進めている姿を認め、自信に繋がるようにする。 ◎自分たちの知っていることを伝えたり、5歳児として関わったりすることで、成長の喜びや1年生になる自覚がもてるよう、異年齢児との交流の場を意識して設ける。 ☆冬の自然事象に触れたり、春の訪れに気付いたりできるように、タイミンングをとらえ機会を設ける。 ☆伝承遊びや伝統的な行事が十分に楽しめるように、由来を伝えたり、遊びや用具を手に取りやすいところに用意したりする。 ☆数量や図形、文字などに興味・関心がもてるような遊びや、絵本、用具等を準備する。 ◎文字や数字などへの興味や関心の状況は個人差が大きいことに配慮する。また、遊びの中で必要に応じて使うことにより、友達や保育者に伝える喜びや楽しさが十分に味わえるようにする。 ◎思いや考えをグループや学級全体の場で伝え合う機会を増やし、場に合った声の大きさや言葉の使い方を知らせる。 ☆イメージを表現するために必要な材料や遊具、用具を園児と一緒に考えながら用意する。 ◎生活発表会では、一人一人の個性や育ちが発揮できるように、内容を園児と共に十分に話し合いながら進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・満足感をもって園生活を終え、期待感をもって小学校生活が始められるように、一年間の成長を保護者に伝え、共に喜ぶ。 ・保護者の就学への不安が和らぐよう、小学校の学習内容や仕組み等について伝えたり、引き継ぎについて一緒に考えたりする。 ・伝統的な行事や伝承遊びを通して、地域文化に触れる機会をもつてもらえよう働きかけたりする。 ・お世話になった人に感謝の気持ちを伝える場を設ける。 ・小学校との連携を密に図り、就学への期待がもてるような体験ができるよう計画を立てる。 ・小学校との情報交換会では、園児の一年間の取り組みや成長、必要な配慮等を丁寧に伝え、移行がスムーズにできるようにする。 			

家庭・地域・小学校との連携

14 カリキュラム (横軸)

子ども像		豊かな心をもち、多町町の自然にふれ、主体的に遊ぶ子ども			
特徴	期 月	I 期 4月～5月		II 期 6月～8月	
		III 期 9月～12月		IV 期 1月～3月	
健康	(A)健康な心と体	5歳児になった喜びと自覚をもつ時期 様々なことに興味を示しますはやってみようとする時期		安定感や開放感を感じ、自己を発揮する時期 自分なりの目標をもって根気強く遊びに取り組む時期 時期	
		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣はほぼ身に付いているが、保育者の言葉かけが必要なものもある。 3、4歳の頃に5歳児が取り組んでいた遊びに挑戦しようとしている。 5歳児になったことに喜びと自覚を感じ、張り切って行動している。しかし、新しい環境に戸惑い緊張気味、不安げな園児もいる。 好きな遊びを見付け、楽しむ姿が見られる。中でも、固定遊具や乗り物、砂場等で遊ぶ園児が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達との関わりが活発になり、自分の目標をもったり友達と競い合ったりして積極的に遊ぶ姿が見られる。持続性も出てきている。 一度身につけた基本的な生活習慣がくずれることがある。 	
人間関係	(B)自立心	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と好きな遊びを見付け楽しむ姿が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> 仲間意識が高まり、友達と力を合わせて頑張ろうとしたりやり遂げることで喜びを感じたりしている。 友達と共通の目的をもち、その目的に向かって相談したり役割を分担したりして協力しながら遊びを進め、つなぐ力を深めている。 ルールのある集団遊びを好んでしている。 競争心から勝ち負けにこだわらず、正しいことが分かっているルールが守られず意地を張ったりする姿が見られる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 相手の思いに気が付かず、自分の思いを主張することが多いので、トラブルやぶつかり合いが起ることがある。 5歳児になり、きまりやマナーを守って生活しようとする張り切っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 仲間意識が高まり、小学校の話題が増えてきている。 卒園する寂しさや環境が変わることへの不安などを感している姿が見られる。 友達と協力して活動に取り組む中でお互いのよさや頑張りを認め合い、仲間意識を強めている。 生活発表会などの活動を契機に、友達関係が一層深まり、見通しをもち協力して遊ぶ姿が多く見られる。 	
環境	(C)社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 草花を見たり摘んだり遊びに取り入れられたりしている。 虫を探したり動植物に触れたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 異年齢の活動で、年下の子の歩調に合わせていたり、気持ちを止めたりしている。 地域の施設や催し、出来事などへの興味や関心が高まっている。 秋や初冬の自然に触れ、美しさ、不思議さ、色、形、大きさなどへの興味や関心が高まっている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 自分で絵本を見たり、保育者に絵本や紙芝居等を読んでもらったりすることを楽しんでいる。 自分の思いや考えを話したいという思いが強いが、言葉でうまく表現できないことがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 雪や氷など冬の自然現象に興味をもち、友達同士で伝え合ったり、試したりしている。 正月、節分、ひな祭り等の伝統的な行事の意味を知り、興味や関心をもっている。 文字や数量などへの興味や関心が高まり、遊びや生活に取り入れようとしている。 	
言葉	(D)自然との関わり・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを話したいという思いが強いが、言葉でうまく表現できないことがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育者に頼らず、自分たちで話し合っ問題解決しようとする姿が見られる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを話したいという思いが強いが、言葉でうまく表現できないことがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 	
表現	(E)数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを話したいという思いが強いが、言葉でうまく表現できないことがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 	
表現	(F)言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 	
表現	(G)豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しみ、イメージを膨らませながら表現しようとしている。 遊びに必要なものを、友達と相談したり協力したりしながらつくろうとしている。 	

子ども像				豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども			
期 月	Ⅰ期 4月～5月		Ⅱ期 6月～8月		Ⅲ期 9月～12月		Ⅳ期 1月～3月
	健康		人間関係		環境		言葉表現
(A)健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児になった喜びや自覚をもち、健康、安全な生活に必要な活動を進んで行う 		<ul style="list-style-type: none"> 体や健康への興味・関心を深める いろいろな遊びに興味をもち楽しむ中で、開放感や充実感を味わう いろいろな遊びの中で体を十分に動かす楽しさを味わう 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に興味や関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う 		<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な活動を再確認し進んで行うと共に、自分たちで生活の場を整えたり見通しをもって行動したりする 心と体が成長したことへの喜びを味わいながら、就学への期待を高める
(B)自立心	<ul style="list-style-type: none"> よいことや悪いこと、きままりの大切さなどに気づき、考えたり守ったりしながら行動しようとする 		<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(C)協同性	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(D)道徳性・規範意識の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> よいことや悪いこと、きままりの大切さなどに気づき、考えたり守ったりしながら行動しようとする 		<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(E)社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(F)思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(G)自然との関わり・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(H)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(I)言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう
(J)豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生、年下の子など身近な人に親しみをもち、一緒に生活することを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わいながら、つながりを広げたり深めたりする 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって協力したり、工夫したりしながら遊び、充実感や達成感を味わう 		<ul style="list-style-type: none"> グループや学級の友達と共通の目的をもって活動に取り組む、達成感や充実感を十分に味わう

子ども像 豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、主体的に遊ぶ子ども			
期 月	I 期 4月～5月	II 期 6月～8月	III 期 9月～12月
健康	(A)健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体に関心をもち、健康で安全な生活をするための習慣を身に付ける 気候の変化に応じて、衣服の調節をし、水分補給、清潔の習慣を身に付ける 夏ならではの遊びに進んで取り組み、試したり、工夫したりする 水、砂、土などを使って友達とイメージを共有し、ダイナミックに遊ぶ いろいろな運動の仕方を知り、目的をもって挑戦したり、ルールを守ったりして遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、汗の始末、うがい、衣服の調節などを進んで行う 食べ物への興味や関心を通じて、自ら進んで食べようとする気持ちをもつ 戸外で積極的に運動し、挑戦したり競い合ったりして遊ぶ
	(B)自立心	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動に興味をもって取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 必要ない生活習慣が身につく、自ら進んで行う 時間の流れや場の使い方を、予測しながら遊びや生活を進める 寒さに負けず、友達と一緒に全身を使った遊びを楽しむ
人間関係	(C)協同性	<ul style="list-style-type: none"> 親しみをもち日常の挨拶をする 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活を振り返り、成長を喜び、自信をもつと共に周りの人たちに感謝の気持ちをもち、体験入学や登校体験などの行事に参加し、就学への期待をもつ
	(D)道徳性・規範意識の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする 友達によいことや悪いこと、園でのきまりなどを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって取り組み、役割を分担したり、協力したりしながら遊びをつくり上げていく 友達と共通の目的に向かって活動する中で、相手の思いや考えに気付き受け入れようとする
環境	(E)社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 進んで当番の仕事をする 新しい友達や先生と関わることを楽しむ 年下の友達に関心をもち、知っていることを教えたり、手伝ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> 互いによさを認め合いながら一緒に遊びや生活を進める 年下の子に積極的に関わり、知っていることを伝えようとする 飼育当番の方法を4歳児に責任をもって伝える
	(F)思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 戸外の自然に触れ、発見したことを喜んだり、友達や先生に伝えたり、一緒に調べたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外へ積極的に出て、季節の変化に気付いたり、発見したことを図鑑で調べたりする
言葉	(G)自然との関わり・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生と一緒に飼育物や栽培物に触れたり、世話をしたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 正月遊びや伝承遊びに親しむ中で、友達と相談したり競ったり協力したりする
	(H)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居などに親しみ、興味をもって見たり聞いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で文字や数字、簡単な標識を見たり使ったりする
表現	(I)言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを言葉で伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを相手に分かるように話したり、相手の思いや考えを聞き受け入れたりする
	(J)豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> 経験ある素材や用具を使って、楽しみながら製作をする 友達や先生と一緒に季節の歌を歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活に必要なものに気付き、試したり工夫したりしながらつくる さまざまな素材や用具を目的に合わせて使い、工夫しながらいかたりつくったりする 友達と一緒に考えた遊びや一緒につくった作品を見せたり伝えたりする 音楽に親しみ、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、気持ちに合わせて合奏したりする

子ども像		豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひたり、主体的に遊ぶ子ども			
健康	環境構成	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
		4月～5月	6月～8月	9月～12月	1月～3月
人間関係	(A)健康な心と体	☆園全体の空間や遊具の配置は、園児の自然な活動の流れにあうよう動線に配慮し、工夫する。 ☆園や新しい学級が心地よく楽しい場所であると感じられるように、家庭や前年度の生活の中で親しんでいた遊具や材料等を準備する。 ◎災害時や緊急時の対処の仕方は、園児の実情に合わせながらも基本的な方法を確実に伝えていく。 ◎安定感をもって生活できるように、一人一人の内面理解に努め、思いや考えを受け止めながら信頼関係を築いていく。 ☆好きな遊びが十分に楽しめるように、場や時間を確保する。 ◎様々な活動を通して、試みたり努力したり思いやったりしていることを認め、5歳児となった自覚がもてるようにする。	◎園児の生活の実態を把握し、一人一人に応じた援助を行う。 ☆開放感を味わい、のびのびと遊ぶことができるように、土や水で遊べる場や時間を十分に確保する。 ☆自ら進んで取り組める場や活動を多くすると共に、一人一人が力を試せるような場を設ける。 ◎遊びの見通しがもてるように共に考えたり、やり方を知らせたり、励ましたりしながら、やり遂げた達成感や満足感を味わえるようにする。	◎一つ一つの生活習慣の意味を再確認し、自ら行えるように配慮する。 ☆食べ物への興味や関心が高まるように、収穫体験やクッキングの場等を設ける。 ◎いろいろな遊びに意欲的に取り組んでいる姿や努力している姿を認めたり、できるようにしたことや共に喜んだりすることや自信がもてるようにする。 ◎集団で遊ぶことに共感し、友達と協力することや集団で遊ぶことの楽しさが感じられるようにする。また、集団遊びの中から出てくる個々の感情を大切に受け止める。 ☆友達と協力したり役割分担したりしながら遊びを進めていけるように、話し合いの場や時間を大切にすること。 ☆行事や活動に対して意欲をもつて取り組めるように、園児同士で話し合える場を多く設けたり、園児のアイディアを多く取り入れたりする。	◎自分たちの知っていることを伝えたり、5歳児として関わったりすることで、成長の喜びや1年生になる自覚がもてるよう、異年齢児との交流の場を意識して設ける。
	(B)自立心				
	(C)協同性				
	(D)道徳性・規範意識の芽生え	◎園児が好きな遊びを思う存分する中で、保育者も共に遊びに加わりながら、園生活のきまりや友達との関わり方に気付けるようにする。			
	(E)社会生活との関わり	◎当番活動や飼育、栽培活動をする中で、保育者が園児に感謝の気持ちを伝え、他者の役に立っているという満足感が味わえるようにする。	◎いろいろな人との交流を通じて思いやりの心を育むと共に、憧れの気持ちをもちたり自分の成長に気づいたりできるようにする。	☆園内外の自然の様子や公共施設、公共機関、地域の行事などについて把握し、好機をとらえて園外へ出かけられるよう計画をたてる。	

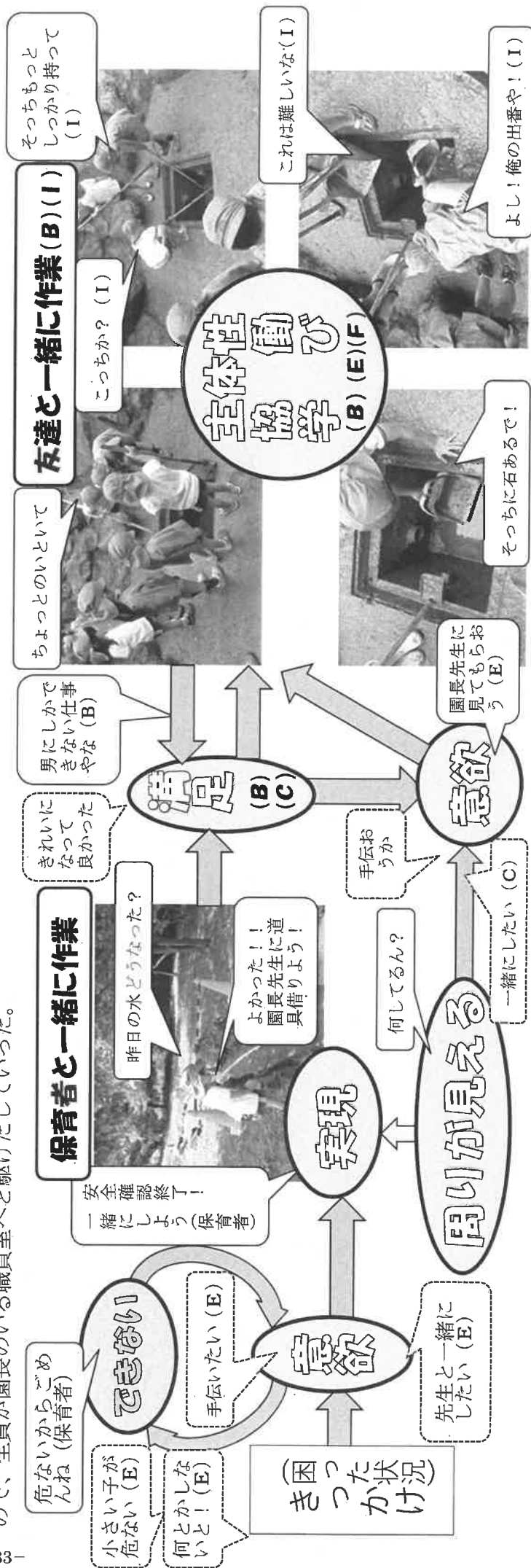
環境	環境構成	言葉	表現	現
(F)思考力の芽生え	☆身近な自然に目を向けられるように園内外の自然に触れる機会を多く設けたり、見たり調べたりできるように図鑑や絵本を用意したりする。	◎絵本や紙芝居を読むときは落ち着いた雰囲気をつくり、一人一人が絵本や物語の世界に浸り込めるようにする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	☆身近な自然に目を向けられるように園内外の自然に触れる機会を多く設けたり、見たり調べたりできるように図鑑や絵本を用意したりする。
(G)自然との関わり・生命尊重	◎生命や人権に関わることなどは、明確に伝えるようにする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎生命や人権に関わることなどは、明確に伝えるようにする。
(H)数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚	◎絵本や紙芝居を読むときは落ち着いた雰囲気をつくり、一人一人が絵本や物語の世界に浸り込めるようにする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎絵本や紙芝居を読むときは落ち着いた雰囲気をつくり、一人一人が絵本や物語の世界に浸り込めるようにする。
(I)言葉による伝え合い	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。
(J)豊かな感性と表現	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。	◎園児が自分の思いを伝えにくいときは、代弁したり補足説明したりする。

豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひとり、主体的に遊ぶ子ども				
子ども像	I 期	II 期	III 期	IV 期
期	4月～5月	6月～8月	9月～12月	1月～3月
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやホームページ等で、学級の経営方針や保育内容を知らせ、保護者の理解と協力を得る。 ・機会を捉え、園児の生活環境や保護者の考え方を聞いたたり園での様子を伝えたりし、園児や保護者との信頼関係を築く。 ・緊急時の対応について措置と連絡方法を保護者に伝え共通理解し、非常時に備えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断や検査結果等を家庭に伝え、事後措置や日々の健康管理について連絡する。 ・たよりを通して園児の遊びや生活の様子を伝えたり、機会を捉えて保護者と話し合ったりする。 ・栽培や収穫、クッキング、給食等を通して、園児や保護者の食育への関心を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や活動に向けて意欲的に取り組み頑張っている姿を保護者に知らせ、共に成長を喜び合う。 ・風邪やインフルエンザなどの感染症が流行しやすい時期には家庭でも予防の習慣がつくように配慮を依頼する。 ・身近な自然の変化や秋の気候の快さに家庭でも目を向けてもらえよう働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足感をもって園生活を終え、期待感をもって小学校生活が始められるように、一年間の成長を保護者に伝え、共に喜ぶ。 ・保護者の就学への不安が和らぐよう、小学校の学習内容や仕組み等について伝えたり、引き継ぎについて一緒に考えたりする。 ・伝統的な行事や伝承遊びを通して、地域文化に触れる機会をもったり、家庭でも関心をもってもらえよう働きかけたりする。
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と触れ合うことが楽しめるように、園周辺を散歩する機会を多く設けたり保育者が積極的に交流する姿を見せたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多可町内の他園の友達へ親しみがもてるよう、交流会を行う。 ・園を地域に開放する機会を設け、地域の未就園児や中高生、高齢者などと触れ合えるようにする。 ・子ども会や地域の行事などに参加し、経験を広げることができるよう働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の興味や関心に合わせて園外へ出向くことができるように、地域の人々や公共施設と連絡を取り合い、園の活動に協力してもらえようようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった人に感謝の気持ちを伝える場を設ける。
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で卒園児の生活を見たり、小学校の教諭と卒園後の成長や課題について話し合ったりする機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学後に支援を必要とする園児については保護者と話し合い、今後の課題を考えたり、小学校への引き継ぎについて一緒に考えたりする。 ・小学校教諭と、保育参観や授業参観、意見交換等を行う機会を設け、連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小の接続や就学に向けての園生活について意見交換ができるように、場の設定を小学校に依頼する。(幼児教育研修事業、連絡会等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携を密に図り、就学への期待がもてるような体験ができるよう計画を立てる。 ・小学校との情報交換会では、園児の一年間の取り組みや成長、必要な配慮等を丁寧に伝え、移行がスムーズにできるようにする。

15 事 例

事例1 おれらにまかしとけ 5月

小川の下流の排水溝に落ち葉や小枝などが集まり、水が沢山溜まっていた。それを除く作業をしている保育者を見て「僕らも手伝う」と言ったA児とB児。けれど、深いので危ないという理由で断られる。その日の降園時、2人は再度様子を见に行った。水がすっかりなくなっているのを見た2人は「(小さい子が)泥上げをばまったら大変やったから」良かったと言った。翌日、保育者が泥上げをしていると再度2人がやってきた。「いいものがあるよ」と言う者の判断で)泥上げを手伝った。またその翌日、2人は朝戸外に出るや否や園長のところへ行き、道具を貸してほしいと言った。「いいものがあるよ」と言う園長について倉庫まで行き、鋤簾やスコップなどを借りた2人。道具を担ぎニコニコしながら現場へ行った。2人が腐葉土や泥土などをあげる作業を開始して数分後、「手伝おうか」と男児が沢山集まってきた。そして手伝い始めた。2人の指導のもと、泥をかき上げる者、一輪車を運んでくる者、一輪車に乗せた泥を山に捨てに行く者と役割分担し、また時々役割を交代しながら作業を進めた。最後の仕上げに、循環用の穴の中の水をすくい上げたいが、鋤簾やスコップを使ってもうまくいかない。B児が「何か別のものを探しに行こう」と提案したので保育者も一緒に道具を探しに行き、塵取りを見付けた。しかしその塵取りでは深いところには届かない。そこで、塵取りを鋤簾の柄に引っかけ水を含み上げた。「そっちもとしつかり持って」「もうちょつと右に石があるで。それがとれたらいいのにな」「これか。これは難しいな」「よし、それやったらおれの出番や。ちょつとこのい」といなど、互いに声を掛け合いながら、塵取り担当が後ろに下がり、鋤簾やスコップ担当が前に出てくる。一輪車担当の幼児達も、それを見ながら応援していた。すっかりきれいになると、A児が「やったな。おれら男にしかできない仕事やな」とすがすがしい笑顔を見せた。その後、B児が「よし、これを園長先生に見てもらおう」とみんなに声をかけたので、全員が園長のいる職員室へと駆けだしていった。



事例2 お化け屋敷ごっこをしよう 7月～8月

保育者が怖い話を読み聞かせたことから始まったお化け屋敷ごっこ。2 学級の内 1 学級はもの（衣装やお化けなど）をつくることから入り、もう 1 学級は「どうやったら怖いやろう」と、考えたり相談したりすることから遊びに入った。子どもによって着眼点が全く違っていた。

お化け屋敷ごっこ当日は、子どもたちの宣伝効果から多くの客（子ども）が来た。初めは張り切っていた子どもたちだが、客が途切れずに来るので途中からしんどくなったように、遊びの後の話し合いの中で子どもたちから「客を規制しようか」という意見が出てきた。活動の中で話し合いは多く行われた。その後、夏休みに入ったので、遊びは一旦終息するが、今回の活動は、10 月のお店屋さんごっこに繋がっていた。



事例3 船づくり 8月

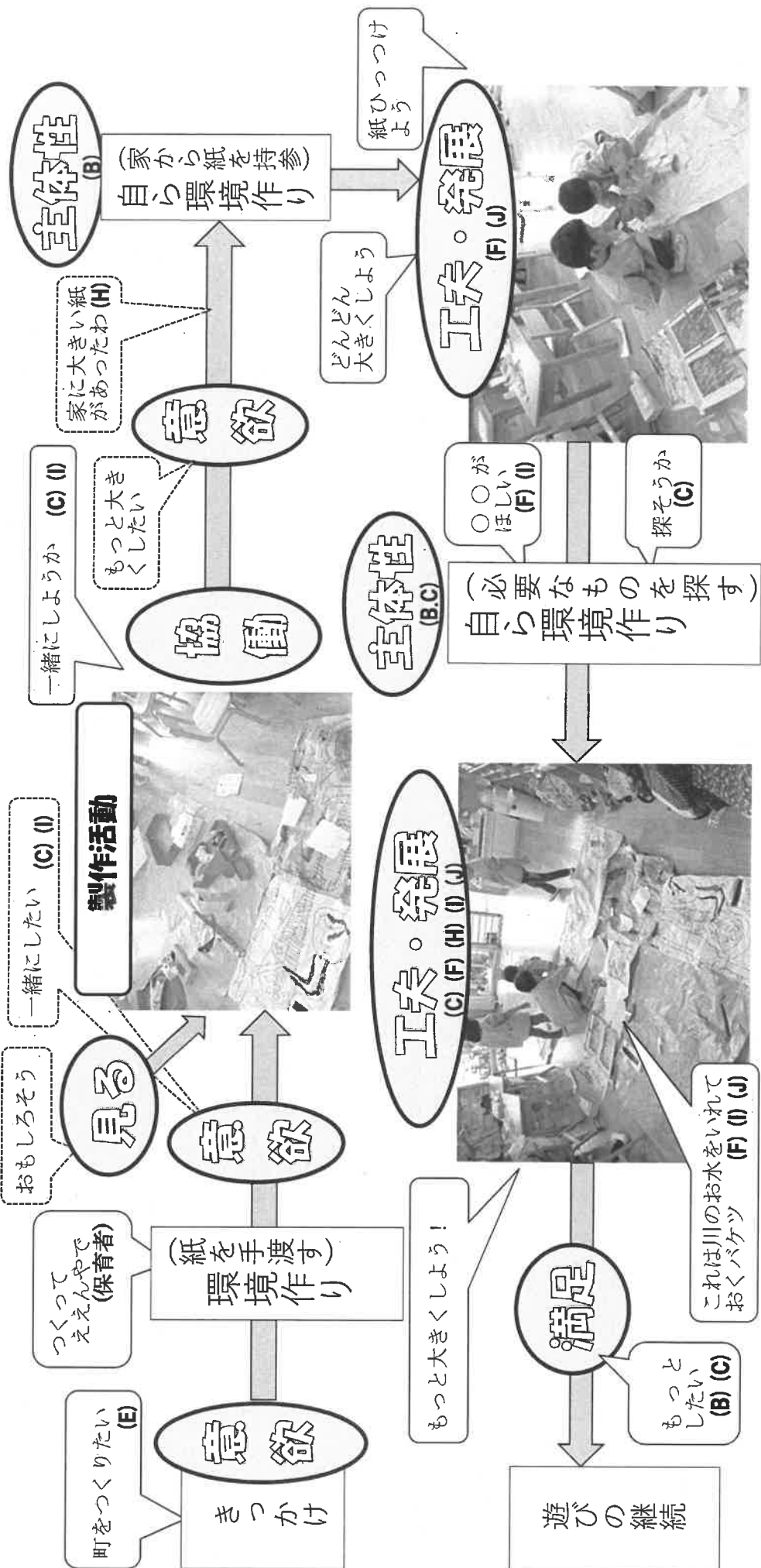
「お泊まり保育のときにどんなことをして遊びたいか」と園児に尋ねると、「船競争がしたい」と言った。それがきっかけで船づくりが始まる。材料は水に強く 軽い(浮かびやすい)ことから発砲スチロールトレイやカップなどを利用、家庭から必要な材料を持参する子もいた。出来上がった船を浮かべた船を浮かぶか試すため、園内に簡易プールを用意、子どもたちは生き生きとした表情で船を浮かべ遊ぶことを確認しつつ遊び始める。お泊り保育当日に、加美区道の駅横の川へ園外保育に行ったが その日は水量が少なく十分に船遊びを楽しむことができなかった。そこで、別日に加美区のハーモニーパークの川へ行く。その日は水量があり、船遊びを十分に楽しむ事が出来たが、中には川の流れが速く壊れてしまいう船もあり、園児はもう一度「もっと丈夫な船を作ろう」と意気込んでいた。



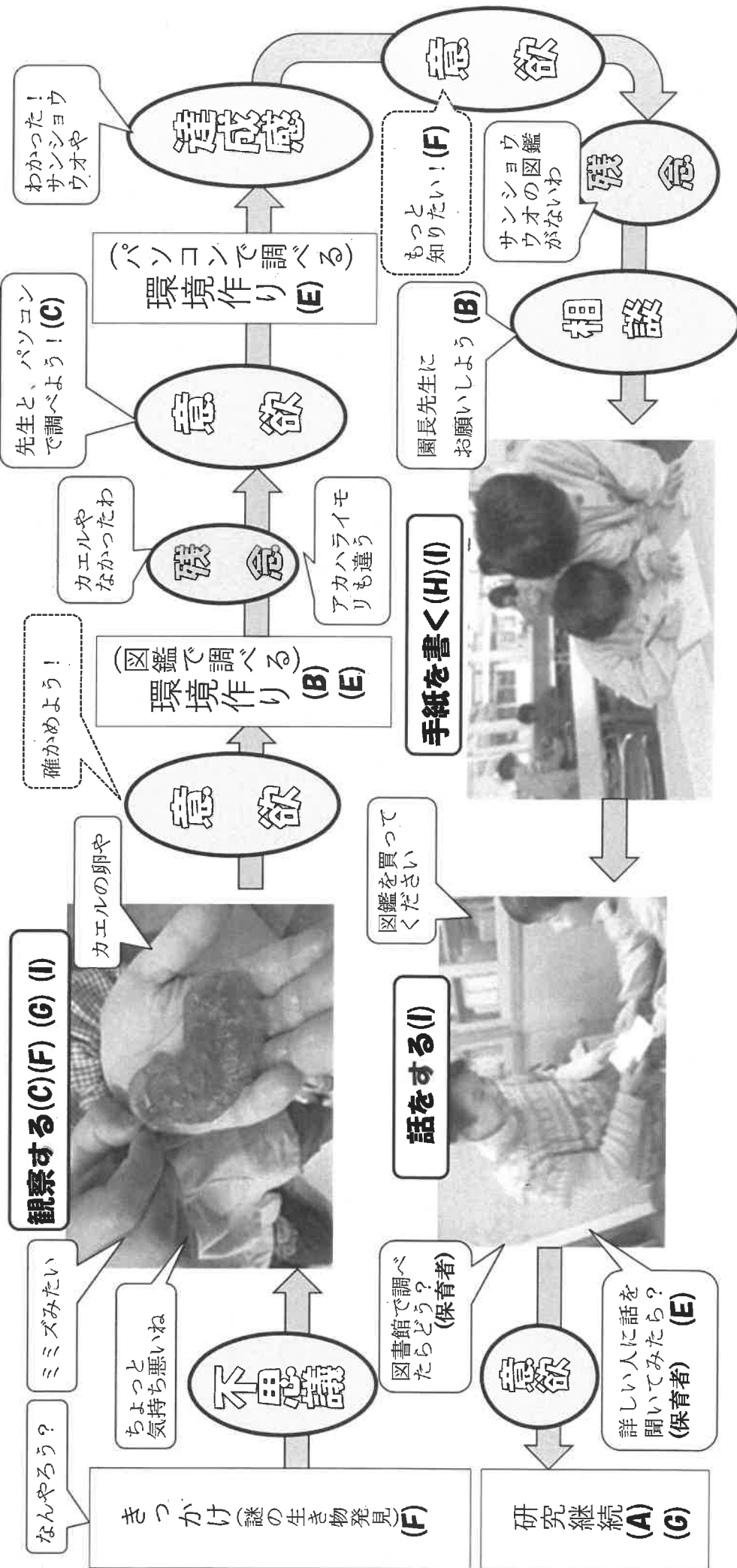
事例4 町づくり

一人の男児が「町をつくりたい!」と言った。そこで保育者は「つくってええんやで」と言い、紙を用意した。するとその男児が一枚の紙に町を書き始めた。その一枚の紙に違う紙を付けると、周りに友達が集まり始めた。その後はどんどん紙を繋げ、町を大きくしていった。

途中からは紙を本児が家から持って来るようになった。町づくりに必要な廃材も「こんなんがほしい」と具体的に言い、自分たちで探して集めてきた。町にはキャンプ場もできた。キャンプ場の近くに空きカップを二つ置いているので保育者が何かと尋ねると、「これは川のお水をいれておくバケツ」と答えた。細かいところまで考えて作っているなと感心した。この遊びは現在も継続している。



1月、いつも遊んでいるグラウンドで、子どもたちが謎の生き物を発見した。見付けた子どもたちは「ミミズみたいね」「ちょっと気持ち悪いね」などと話していた。よく見ると生き物の中に小さな点々がいくつも見えた。「あっ！カエルの卵や！」その一声から男児を中心に不思議な卵についての研究が始まった。しかし、カエルの図鑑を見ると少し様子が違うことが分かった。「アカハライモリかな？」と言い、それについても調べたがこれまた違う様子。そこで、保育者と一緒にパソコンで調べることにした。結果、謎の行き物はサンショウウオであることが判明した。その後子どもたちは「図鑑で調べようか」と言って図鑑を探したが、図鑑はなかった。そこで、園長先生に購入依頼の手紙を書き、渡しに行った。すると、園長先生が「図書館で調べてみたら？」「サンショウウオに詳しい人に話を聞いてみたら？」などとアドバイスくれた。その後も研究は引き続き行われている。



後 記

本町の就学前教育・保育は、平成 28 年 3 月に策定した「多可町教育大綱 多可町教育ビジョン（後期）―多可町教育振興基本計画―」に則り、新たなステージへ進むこととなりました。本カリキュラムはその内の一つとして、平成 28 年度から令和元年度の 4 年間にわたり、編成・評価・改訂等を行ってきたものです。多可町がめざす「豊かな心をもち、多可町の自然にふれ、ひとり、主体的に遊ぶ子ども」はもちろんのこと、幼稚園教育要領等の各領域や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、小学校の学びなどを踏まえ、総合的な視点をもち編成するよう努めてきました。こういった多角的な視点から編成することで、多可町の子どもたちの発達が調和のとれた豊かなものになると考えています。

本カリキュラムを基に、今後各園が特色を生かした創意工夫ある指導計画を編成し、計画的、継続的に実践されることを切に望みます。

最後になりましたが、本カリキュラムを作成するにあたり、ご指導いただきました兵庫教育大学の鈴木正敏准教授をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和 2 年 3 月

多可町・多可町教育委員会

多可町教育・保育共通カリキュラム検討委員会関係者

学識助言者 兵庫教育大学准教授 鈴木 正敏

《5歳児共通カリキュラム》

委 員	増田 美保 (みどりこども園)
	神藤 雅和 (みどりこども園)
	原 しのぶ (あさかこども園)
	徳平 敬介 (あさかこども園)
	藤田 麻美 (あさかこども園)
	藤本 泰子 (四恩こども園)
	日原 真実 (四恩こども園)
	大西 由峰 (四恩こども園)
	吉井 美和 (キッズランドかみ)
	吉田 早苗 (キッズランドかみ)
	藤田 純子 (キッズランドかみ)
	窪田 智子 (キッズランドやちよ)
	西山 京子 (キッズランドやちよ)
	市位 幸子 (キッズランドやちよ)
事 務 局	北藤 静 (多可町教育委員会こども未来課)

《0～4歳児共通カリキュラム》

委 員	片岡さおり (みどりこども園)
	神藤 雅和 (みどりこども園)
	藤田 麻美 (あさかこども園)
	池田亜衣菜 (あさかこども園)
	日原 真実 (四恩こども園)
	大西 由峰 (四恩こども園)
	深瀬佳代子 (キッズランドかみ)
	園田 彩夏 (キッズランドかみ)
	笹倉 美香 (キッズランドやちよ)
	今中 尚子 (キッズランドやちよ)
事 務 局	吉井 美和 (多可町教育委員会こども未来課)

(※園名は行政順。敬称略)



多可町教育・保育共通カリキュラム
令和2年3月発行

発 行 : 多可町教育委員会
編 集 : 多可町教育委員会 こども未来課
多可郡多可町中区中村町 123
TEL : 0795-32-2385

